

高さの
うちまち



小山町町勢要覧 2012
資料編

小山町町制施行100周年

町勢要覧(資料編)

目 次

- 2 … 100人の笑顔
- 6 … 小山町100年の歴史
- 30 … 小山町町制施行100周年記念事業 主なイベント一覧
- 32 … 土地・気象、小山町の位置
- 33 … 気象概要
- 34 … 人口と推移
- 37 … 労働力人口
- 39 … 指定文化財
- 40 … 小学校在籍者数・中学校在籍者数の推移
- 41 … 幼稚園在籍者数・保育園在籍者数の推移
- 42 … 議決機関
- 44 … 歴代特別職・歴代教育長
- 46 … 町内の施設等
- 47 … 小山町役場行政機構図
- 48 … 町章、町の木・鳥・花、町民憲章

百年だから 百人の笑顔。

百人だから百人の笑顔。
たくさんの笑顔を、見たいから・・・。
100年目の小山町に住む、
100人に登場していただきました。
ここにいる、一人ひとりが「おやま」です。





百人で刻む 百年の足跡。

百人で刻む百年の足跡。
たくさんの足跡が、ありました…。
100 年前を身近に知っている人から、
今年生まれた赤ちゃんまで。
これを見ている皆さんも「おやま」です。





小山町100年の歴史

大正元年

大正12年

| | |
|------------------|---|
| 大正元年 8月1日 (1912) | 六合村、菅沼村が合併して町制施行。小山町が誕生。 |
| 元年10月29日 (1912) | 町長選挙で、初代町長に湯山寿介氏が当選。 |
| 元年12月29日 (1912) | 区長設置規則を制定。町内9区に区長、区長代理者を置く。 |
| 2年1月12日 (1913) | 消防組を組織。町内に9部を設置。 |
| 2年1月25日 (1913) | 成美、菅沼に実業補習学校を設置。 |
| 3年4月13日 (1914) | 落合宮の台に隔離病舎を設置する。 |
| 3年6月1日 (1914) | 富士紡績社長の和田豊治氏から町制施行を記念して寄贈された株式100株を、特別基本財産管理規程で管理することとする。 |
| 3年6月1日 (1914) | 富士紡績第5工場(綿布)が創業。 |
| 3年8月13日 (1914) | 台風が襲来し、大きな被害が出る。 |
| 3年8月23日 (1914) | 第1次世界大戦が勃発。日本はドイツに宣戦布告し、小山町から21人が召集される。 |
| 4年10月10日 (1915) | 町長選挙で、湯山剛平氏が当選。 |
| 4年11月20日 (1915) | 富士見橋が落成。 |
| 6年3月20日 (1917) | 菅沼中央道路が開通。 |
| 6年9月30日 (1917) | 台風が襲来し、大きな被害が出る。1914年に次いで大きな被害を受ける。 |
| 7年8月3日 (1918) | 米価暴騰。町では篤志者から募金を集め、窮民の救済に努めた。 |
| 8年6月20日 (1919) | 生土の城山下道路改良工事が完成。 |
| 8年7月12日 (1919) | 小山字幕下に避難所(1,024m ²)を設置。 |
| 9年10月1日 (1920) | 第1回国勢調査。人口17,536人、世帯数2,986戸。 |
| 9年10月10日 (1920) | 町長選挙で、室伏完氏が当選。 |
| 10年10月1日 (1921) | 中島の滝の前町道が完成。 |
| 10年10月15日 (1921) | 消防組を3部制に改正。 |
| 10年12月11日 (1921) | 落合に小山藤曲郵便局が開設される。 |
| 11年8月12日 (1922) | 方面委員制度を制定。 |
| 12年3月22日 (1923) | 小山藤曲郵便局の付近で大火事。全焼52戸、230人が罹災。 |

大正12年

昭和4年

- 大正12年 8月14日 (1923) 成美、菅沼両校に町立図書館を設置。
- 12年 9月 1日 (1923) 午前11時58分、関東大震災。震度6の揺れで県下最大の被害。
死者149人、行方不明4人、重軽傷182人、全壊家屋488戸、半壊家屋2,502戸。
- 12年11月11日 (1923) 足柄村小山町道路組合を設置。
- 13年10月 1日 (1924) 普通選挙制度となって初めての選挙となる町議会議員選挙。
- 13年10月 7日 (1924) 町長選挙で、室伏完氏が再選。
- 14年 3月30日 (1925) 町営住宅を菅沼に8戸、久保河原に13戸建設。
- 14年 5月10日 (1925) 大正天皇御成婚25年記念事業として、鮎沢川沿いに吉野桜250本を植樹。
- 14年 5月31日 (1925) 町長選挙で、湯山剛平氏当選。
- 14年10月 1日 (1925) 第2回国勢調査。人口19,105人、世帯数3,303戸。
- 14年10月15日 (1925) 関東大震災で被害を受けた富士紡績小山工場が完全復旧。
- 15年 3月27日 (1926) 御殿場町ほか3カ町村で道路組合を設置。
- 15年 4月 1日 (1926) 腸チフス流行地に指定。
- 15年 5月16日 (1926) 豊門会館が落成。和田豊治氏遺徳碑を建立。
- 15年 6月28日 (1926) 部落有財産が林野統一される。
- 15年 6月28日 (1926) 北郷村中日向八字共有地397.54haが分割整理される。
- 15年 6月30日 (1926) 駿東郡役所を廃止。
- 15年 7月 1日 (1926) 成美、菅沼両校に青年訓練所を併置する。
- 昭和2年10月11日 (1927) 落合橋が落成する。
- 3年 5月 9日 (1928) 中国山東省濟南府に戦乱が起きる。動員令で小山町から33人が召集される。11月に全員復員。
- 3年 8月19日 (1928) 台風が襲来し、六合橋をはじめとした橋梁、そのほか田畠、山林に大きな被害が出る。
- 3年10月30日 (1928) 駿河中野線道路組合を設置。
- 4年 4月24日 (1929) 警部補派出所庁舎を富士紡績から町に、さらに県有に移管する。

昭和4年

昭和9年

- 昭和4年11月6日（1929） 町長選挙で、湯山正平氏が当選。
- 5年2月26日（1930） 成美・菅沼両校に併置していた青年訓練所を成美小学校内に移し、小山町青年訓練所と改称。
- 5年2月27日（1930） 税制改正を行い、戸数割を廃止して、家屋税付加税に改める。
- 5年5月28日（1930） 成美尋常高等小学校を小山町第一尋常高等小学校、菅沼尋常高等小学校を小山町第二尋常高等小学校に学校名を改称。
- 5年6月1日（1930） 町報発行規程を制定。6月25日に創刊号を発行。
- 5年9月16日（1930） 小山菅沼郵便局が茅沼に開設される。
- 5年10月1日（1930） 第3回国勢調査。人口16,916人。世帯数3,213戸。
- 5年10月7日（1930） 富士見橋、六合橋が鉄筋橋に改築される。
- 5年11月26日（1930） 伊豆韭山付近で大地震が起こり、町内の軍人、青年団、消防団が救援に出動。
- 6年9月18日（1931） 南満鉄道の柳条溝で満州事変が勃発。
- 7年3月4日（1932） 菅沼に授産所を設置。
- 7年5月10日（1932） 小山町青果市場が、食品卸売市場として菅沼で営業を開始。
- 7年5月31日（1932） 小山町外1カ村足柄三保線道路組合ができる。
- 7年11月13日（1932） 小山町役場新庁舎が落成。
- 7年11月14日（1932） 台風が襲来し、家屋全半壊40戸、非住家被害41戸、その他学校などに大きな被害がでる。
- 8年2月18日（1933） 茅沼区で大火。36戸が全半焼する。
- 8年7月29日（1933） 音淵区で大火。93戸が全焼する。
- 8年10月27日（1933） 町長選挙で、高橋文治郎氏が当選。
- 9年4月29日（1934） 農振町道鰐塚大久保線が開通。
- 9年5月5日（1934） 音淵区で大火。銀行通り17戸が全半焼する。
- 9年5月30日（1934） 金時公園を設置するため、中島区内に13,300m²の用地を買収する。
- 9年12月1日（1934） 東海道本線が丹那トンネル開通により熱海経由となり、沼津～国府津間は御殿場線となる。

昭和10年

昭和20年

| | | |
|-------------|--------|------------------------------------|
| 昭和10年 4月14日 | (1935) | 金時公園が開園。 |
| 10年10月1日 | (1935) | 第4回国勢調査。人口15,230人、世帯数2,762戸。 |
| 10年12月10日 | (1935) | 滝沢林道が完成。 |
| 12年1月25日 | (1937) | 生土区で火災。富士紡績の裏門付近の12戸が焼失。 |
| 12年2月24日 | (1937) | 奈良橋の産業道路が完成。 |
| 12年7月7日 | (1937) | 盧溝橋事件をきっかけに日中戦争が勃発。 |
| 12年8月26日 | (1937) | 応召軍人軍属、家族後援会が結成される。 |
| 12年9月4日 | (1937) | 防護団、国防婦人会が結成される。 |
| 12年11月2日 | (1937) | 町長選挙で、岩田幸恵氏が当選。 |
| 13年2月1日 | (1938) | 厚木線道路が開通。 |
| 13年9月16日 | (1938) | 町長選挙で、高橋文治郎氏が当選。 |
| 14年4月1日 | (1939) | 銃後奉公会が結成される。 |
| 14年5月27日 | (1939) | 消防団を警防団に改組する。 |
| 15年1月15日 | (1940) | 静岡大火(静岡市)。町内の軍人、警防団、青年団が救援に出動。 |
| 15年10月1日 | (1940) | 第5回国勢調査。人口13,912人、世帯数2,345戸。 |
| 16年1月25日 | (1941) | 町長選挙で、室伏武氏が当選。 |
| 16年2月11日 | (1941) | 大政翼賛会小山支部が結成される。 |
| 16年4月1日 | (1941) | 第一・第二尋常高等小学校が、それぞれ成美・明倫国民学校に改称される。 |
| 16年5月5日 | (1941) | 落合橋、小山橋、小山厚木線が開通する。 |
| 16年12月8日 | (1941) | 太平洋戦争が勃発。 |
| 16年12月11日 | (1941) | 菅沼区から茅沼、坂下、谷戸、大脇、原向を分離して5区を新設する。 |
| 17年8月24日 | (1942) | 北郷村森林組合に加入する。 |
| 20年1月17日 | (1945) | 町長選挙で、室伏武氏が再選。 |
| 20年7月30日 | (1945) | 米軍艦載機の空襲で、富士紡績をはじめとして町内に人的損害。 |
| 20年8月15日 | (1945) | 終戦。 |

昭和20年

昭和26年

- 昭和20年 8月23日 (1945) 町長選挙で、室伏武氏が再選。
- 21年11月3日 (1946) 日本国憲法公布。
- 22年4月1日 (1947) 学制の改制。成美・明倫国民学校がそれぞれ成美・明倫小学校と改称され、高等科が廃止される。
- 22年4月1日 (1947) 学校組合立の小山中学校を設置。
- 22年4月5日 (1947) 公職選挙法による初の町長選挙で、湯山正平氏が当選。
- 22年4月17日 (1947) 地方自治法公布。
- 22年4月28日 (1947) 小山中学校が開校。成美小、明倫小、豊門青年学校の各校舎で授業をはじめる。
- 22年10月1日 (1947) 臨時国勢調査。人口16,658人、世帯数2,922戸。
- 22年10月31日 (1947) 警防団を解散し、消防団を設置する。
- 23年3月10日 (1948) 自治体小山町警察署を設置する。
- 23年4月5日 (1948) 小山中学校の足柄分校を開校。
- 23年9月1日 (1948) 県立御殿場高校の小山分校開設。
- 23年9月16日 (1948) アイオン台風襲来。河川や橋梁に大きな被害。
- 24年3月31日 (1949) 小山中学校組合を解散する。
- 24年8月28日 (1949) 音淵区で大火。全半焼42戸、非住家全半焼9戸、7人が重軽傷を負う。
- 24年8月31日 (1949) キティ台風襲来。
- 24年11月5日 (1949) 小山中学校校舎が落成。
- 25年4月14日 (1950) 落合区で大火。18戸が全半焼する。
- 25年4月22日 (1950) 成美小学校で大火。
- 25年10月1日 (1950) 第7回国勢調査。人口16,803人、世帯数2,844戸。
- 26年4月1日 (1951) 母子寮「富士見寮」を設置。
- 26年4月23日 (1951) 町長選挙で、湯山正平氏が再選。
- 26年4月29日 (1951) 成美小学校校舎の一部が完成。
- 26年10月5日 (1951) 引揚者住宅地を設置。
- 26年10月5日 (1951) 小山橋、中野沢橋が落成。

昭和26年

昭和31年

- 昭和26年11月3日（1951） 小山中学校が優良施設校として文部大臣から表彰される。
- 26年11月3日（1951） 消防ポンプ車を購入する。
- 27年3月30日（1952） 町営住宅犬の平団地15戸建築。
- 27年8月26日（1952） 小山区で大火。57戸が全半焼する。
- 27年10月19日（1952） 成美小学校、明倫小学校校舎が落成する。
- 27年11月1日（1952） 小山町教育委員会が設置される。
- 28年3月31日（1953） 町営住宅を音淵に24戸建築。
- 28年9月26日（1953） 自治警察の存廃が住民投票で廃止に決まる。
- 29年4月1日（1954） 国警北駿東地区警察署小山町警部派出所が設置される。
- 29年4月23日（1954） 警察庁舎と附属建物を警部派出所として寄附する。
- 29年5月31日（1954） 町営住宅を犬の平団地に20戸建築。
- 30年1月27日（1955） 小山町・足柄村町村合併促進協議会を設置する。
- 30年4月1日（1955） 足柄村と合併。
- 30年4月1日（1955） 町村合併で足柄村有財産の協定を結ぶ。
- 30年4月1日（1955） 小山町役場足柄出張所を設置する。
- 30年4月1日（1955） 所領地区を明倫小学校区にする。
- 30年4月1日（1955） 積雪寒冷单作地帯振興臨時措置法に基づき、農林省特別総合助成事業として農事放送施設が全国ではじめて認可され、足柄地区の一部と本庁・足柄出張所間に放送電話を設置する。
- 30年4月2日（1955） 足柄中学校を廃して小山中学校区とする。
- 30年4月23日（1955） 県議会議員選挙で神成昇造氏が三選。
- 30年4月30日（1955） 町長選挙で湯山正平氏が三選。
- 30年5月1日（1955） 町営住宅湯船団地20戸を建設する。
- 30年10月1日（1955） 第8回国勢調査。人口17,273人、世帯数3,181戸。
- 30年10月1日（1955） 御殿場線に小田急電鉄乗り入れが始まる。
- 31年3月31日（1956） 電波監理局の認可を受け、小山町放送協会（湯山正平会長）を設立する。

昭和31年

昭和33年

- 昭和31年 3月31日 (1956) 町営住宅を湯船団地に16戸建築。
- 31年 4月25日 (1956) 小山町・北郷村合併促進協議会を設置する。
- 31年 5月21日 (1956) 上水道新設第1期工事が完成する。
- 31年 8月1日 (1956) 北郷村と合併。
- 31年 8月1日 (1956) 町村合併で北郷村有財産の協定を結ぶ。
- 31年 9月1日 (1956) 生土保育所を開設する。
- 31年 9月19日 (1956) 小山町・須走村町村合併促進協議会を設置する。
- 31年 9月30日 (1956) 須走村と合併。
- 31年 9月30日 (1956) 町村合併で須走村有財産の協定を結ぶ。
- 31年 9月30日 (1957) 上水道第2期工事が完成する。
- 32年 3月31日 (1957) 足柄地区・北郷支所と本庁を結ぶ農事放送施設第2期工事完成する。
- 32年 3月31日 (1957) 町営住宅を湯船団地に20戸建設。
- 32年 4月1日 (1957) 小山町放送協会を解消し小山町有線放送利用農業協同組合を設立する。
- 32年 6月5日 (1957) 古沢区域の分町問題が起き、県から調停案受諾の勧告を受ける。
- 32年 6月21日 (1957) 北郷地区住民代表から調停案受諾と分町反対の陳情書が提出される。
- 32年 7月6日 (1957) 古沢区域を御殿場市に編入する県調停案を受諾する。
- 32年 7月31日 (1957) 総理府から古沢の区域を御殿場市に編入する境界変更が告示される。
- 32年 8月31日 (1957) 古沢区域内の町有財産を御殿場市に引継ぐ。
- 32年 8月31日 (1957) 小山町長、御殿場市長立会で古沢区域変更にともなう事務引継ぎを終える。
- 32年10月28日 (1957) 第12回国体ライフル競技が須走で行われる。
- 33年 3月31日 (1958) 北郷地区の農事放送施設が完成。小山町の農村部全域に放送施設が設置される。

昭和33年

昭和35年

| | |
|--------------------|---------------------------------|
| 昭和33年 3月31日 (1958) | 町営住宅を須走緑ヶ丘団地に30戸建設。 |
| 33年 3月31日 (1958) | 北郷地区に青年研修所を設置する。 |
| 33年 3月31日 (1958) | 足柄、北郷、須走の隔離病舎を廃止する。 |
| 33年 6月30日 (1958) | 上水道第3期工事が完成する。 |
| 33年 9月27日 (1958) | 狩野川台風襲来。被害軽微。 |
| 34年 3月31日 (1959) | 町営住宅を茅沼団地、足柄団地、須走団地に35戸建設。 |
| 34年 3月31日 (1959) | 湯船原線道路が完成する。 |
| 34年 3月31日 (1959) | 上水道第4期工事が完成する。 |
| 34年 3月31日 (1959) | 北郷地区に母子健康センターを設置する。 |
| 34年 4月23日 (1959) | 県議会議員選挙で湯山利氏が無投票当選。 |
| 34年 4月30日 (1959) | 町長選挙で鈴木繁氏が当選。 |
| 34年 5月27日 (1959) | 北郷小学校校舎が落成する。須走小学校校舎増築が落成する。 |
| 34年 6月6日 (1959) | 須走に富士総合グラウンドが完成する。 |
| 34年 8月12日 (1959) | 明倫小学校校舎増築が完成する。 |
| 34年 8月14日 (1959) | 台風7号襲来。河川、農耕地に被害がでる。 |
| 34年 8月15日 (1959) | 成美小学校プールが落成する。 |
| 34年 9月26日 (1959) | 伊勢湾台風襲来。被害軽微。 |
| 34年 9月29日 (1959) | 大御神大洞山、桑木山国有林野54.69ha払下契約成立。 |
| 34年10月12日 (1959) | 小山町社会教育委員を委嘱する。 |
| 34年10月30日 (1959) | 第14回国体軟式庭球で落合英子、荻谷明子ペア(富士紡)が優勝。 |
| 34年11月1日 (1959) | 福祉年金制度が発足する。 |
| 34年11月1日 (1959) | 塵芥焼却場を設置する。 |
| 34年11月7日 (1959) | 富士平原ゴルフ場がオープン。 |
| 35年 3月31日 (1960) | 町営住宅を須走団地、茅沼団地に20戸建設。 |
| 35年 4月6日 (1960) | 足柄幼稚園を開園する。 |
| 35年 4月21日 (1960) | 小山・聖天堂道路6,276mが完成する。 |
| 35年 5月30日 (1960) | 一色・正倉線道路改築が完了する。 |

昭和35年

昭和38年

- 昭和35年 8月27日 (1960) 富士高原ゴルフ場がオープン。
- 35年10月1日 (1960) 第9回国勢調査。人口25,944人、世帯数4,720戸。
- 36年3月31日 (1961) 町営住宅を須走団地、奈良橋団地に30戸建設。
- 36年4月1日 (1961) 抱出制国民年金制度が発足する。
- 36年4月1日 (1961) 富士国際ゴルフ場がオープン。
- 36年4月10日 (1961) 明倫小学校に仲良し学級を開設する。
- 36年5月1日 (1961) 国道246号須川橋が拡幅される。
- 36年6月3日 (1961) 県スポーツ祭で小山町が優勝する。
- 36年7月13日 (1961) 佐野川相野橋が永久橋になる。
- 36年11月16日 (1961) 須走に富士高原アイスパークができる。
- 36年12月16日 (1961) 小山中央線道路（県道須走・小山線）が開通する。
- 37年1月30日 (1962) 須走中学校校舎増築が完成する。
- 37年3月15日 (1962) 大御神線道路が完成する。
- 37年3月25日 (1962) 柳島川の山口橋が完成する。
- 37年4月1日 (1962) 富士小山ゴルフ場がオープン。
- 37年4月12日 (1962) 北郷幼稚園を開園する。
- 37年5月30日 (1962) 北郷小学校給食室が完成する。
- 37年6月13日 (1962) 住民スポーツ振興のため体育指導委員をおく。
- 37年7月13日 (1962) 須走に富士高原自然科学苑ができる。
- 37年7月31日 (1962) 小山中学校増築が完成する。
- 37年10月1日 (1962) 北駿の9農協が合併して御殿場農業協同組合として発足する。
- 38年2月19日 (1963) 須走浅間神社のハルニレが県の天然記念物に指定される。
- 38年4月10日 (1963) 北郷中学校の技術教室が完成する。
- 38年4月30日 (1963) 町長選挙で神成昇造氏が当選。
- 38年6月27日 (1963) 小山町観光協会設立。
- 38年7月16日 (1963) 県道上野・大御神線が開通する。
- 38年8月3日 (1963) 御殿場市滝ヶ原でアジアジャンボリー大会が開かれる。

昭和38年

昭和40年

- 昭和38年 9月2日 (1963) 湯船川の湯船沢橋が永久橋になる。
- 38年 9月28日 (1963) 池の沢川の池の沢橋が永久橋になる。
- 38年11月1日 (1963) 菅沼保育所を開設する。
- 38年11月3日 (1963) 「するが路」が町民総合文芸誌として復刊。
- 39年 1月20日 (1964) 北郷地区簡易水道の給水はじまる。
- 39年 4月1日 (1964) ゴミの回収手数料を無料にする。
- 39年 4月1日 (1964) 富士見橋の拡幅工事が完了する。
- 39年 4月1日 (1964) 桑木・新柴簡易水道、大御神簡易水道の給水はじまる。
- 39年 4月6日 (1964) 小山中学校に希望学級が誕生。
- 39年 6月1日 (1964) 小山町と御殿場市間の電話が即時通話となる。
- 39年 6月17日 (1964) 町道用沢・大御神線が拡幅される。
- 39年 7月1日 (1964) 国道246号がアスファルト舗装になる。
- 39年 7月6日 (1964) 有線放送会館が完成する。
- 39年 7月7日 (1964) 県道小山・山中湖線が、静岡、山梨、神奈川の3県に通じる。
- 39年10月6日 (1964) 23名の若者たちで編成されたオリンピック聖火隊が、聖火を継走する。
- 39年10月6日 (1964) 国道246号の町内交通量調査がまとまる。通過車両は1日12,000台。
- 39年11月1日 (1964) 湯船原に東富士変電所ができる。
- 39年12月11日 (1964) 「交通安全都市」を宣言する。交通補導員(41年4月1日に民間交通指導員に変わる)制度ができる。
- 40年 1月11日 (1965) 第37回学生氷上選手権大会が須走で開かれる。
- 40年 3月1日 (1965) 県道竹之下・小山線の花戸橋が拡幅される。
- 40年 4月1日 (1965) 町立老人ホーム「福寿荘」を開設する。
- 40年 4月1日 (1965) 中島金時公園内に児童館を開設する。
- 40年 4月1日 (1965) 小山幼稚園を開設する。
- 40年 4月1日 (1965) 教員独身寮「青雲寮」を開設する。
- 40年 4月1日 (1965) 上水道の定額制をメーター制にする。

昭和40年

昭和42年

- 昭和40年 5月23日 (1965) 小山ライオンズクラブが全国836番目のクラブとして誕生。
- 40年 7月 9日 (1965) 富士靈園が開園する。
- 40年 9月 1日 (1965) NHK小山テレビジョン放送局が開局される。
- 40年10月 1日 (1965) 第10回国勢調査。人口25,301人、世帯数4,919戸。
- 40年10月 1日 (1965) 国道246号の新小山橋が完成。
- 40年12月 4日 (1965) 成美小学校が北海道泊村小学校と姉妹校の縁組を結ぶ。
- 40年12月 5日 (1965) 富士スピードウェイがオープンする。
- 40年12月15日 (1965) 町営住宅を20戸（滝の台、南藤曲団地）建設。
- 41年 1月20日 (1966) 町営住宅を30戸（滝の台、南藤曲、富士向団地）建設。
- 41年 3月12日 (1966) 上野のトチの木と大胡田のイチョウの木が県の天然記念物に指定される。
- 41年 4月 1日 (1966) 広報おやま「お知らせ版」を創刊する。
- 41年 4月 1日 (1966) 御殿場市・小山町厚生施設組合を設立。伝染病隔離病舎、火葬場、じんかい焼却場の共同処理をはじめる。
- 41年 4月 1日 (1966) 老人福祉センターを開設する。
- 41年 4月 1日 (1966) 北郷保育所を開設する。
- 41年 7月 1日 (1966) 飼い犬条例を施行する。
- 41年 9月24日 (1966) 台風26号襲来。瞬間風速36mの台風の直撃で大きな被害がでる。
- 41年10月31日 (1966) 町営住宅を30戸（犬の平、南藤曲、滝の台、一色西裏団地）建設。
- 41年11月19日 (1966) 御殿場高等学校小山分校の校舎が落成する。
- 42年 3月16日 (1967) 須川橋に歩道橋を設置する。
- 42年 4月28日 (1967) 町長選挙で神成昇造氏が再選。
- 42年 5月 1日 (1967) 一色地区農業構造改善事業第1期工事が完成。10haの水田が整備される。
- 42年 5月 1日 (1967) 藤曲保育所を開設する。
- 42年10月 1日 (1967) 東富士カントリークラブがオープン。
- 42年10月12日 (1967) 柳島二本杉が県天然記念物に指定される。

昭和42年

昭和44年

- 昭和42年11月1日 (1967) 御殿場市・小山町広域行政組合による救急自動車業務を開始。
- 42年11月30日 (1967) 町営住宅を30戸、滝の台、一色西裏、南藤曲に建設。
- 43年1月1日 (1968) 交通災害共済制度が発足する。
- 43年1月8日 (1968) 足柄幼稚園園舎が完成する。
- 43年2月17日 (1968) 北郷中学校の新校舎が完成する。
- 43年3月1日 (1968) 国道246号大脇地先に大脇横断歩道橋が設置される。
- 43年3月25日 (1968) 駿河小山駅の駅舎が改築される。
- 43年3月31日 (1968) 一色地区農業構造改善事業第2期工事が完成する。21.2haの水田が整備される。
- 43年4月1日 (1968) 国道246号茅沼地先の一部が拡幅される。
- 43年5月1日 (1968) 御殿場市・小山町広域行政組合によるごみ処理工場が運転をはじめる。
- 43年6月12日 (1968) 役場別館が火災、全焼する。
- 43年6月29日 (1968) 小山町文化財保護条例を制定する。
- 43年7月1日 (1968) 国鉄御殿場線が全面電化される。
- 43年7月1日 (1968) 役場庁舎の改築が完成。
- 43年7月3日 (1968) 集中豪雨のため足柄小学校運動場が崩壊する。
- 43年10月2日 (1968) 駿河小山駅前広場が拡張整備される。
- 43年10月26日 (1968) 小山電報電話局が開局される。全国即時通話ができる。
- 43年11月18日 (1968) 落合に町立体育館を開設する。
- 43年11月30日 (1968) 国道246号菅沼地先に日吉横断歩道橋と菅沼横断歩道橋が設置される。
- 44年3月15日 (1969) 町営住宅を30戸、滝の台、南藤曲、大胡田に建設。
- 44年3月30日 (1969) 吉久保大倉地区の農業構造改善事業が完成。9.2haの水田が整備される。
- 44年3月31日 (1969) 沼城平に小規模草地改良事業（仔牛の育成放牧場）60haの草地造成が完成する。



昭和46年

| | | |
|-------------|--------|--------------------------------------|
| 昭和44年 4月16日 | (1969) | 役場別館が落成する。 |
| 44年 5月26日 | (1969) | 東名高速道路が開通する。 |
| 44年 9月10日 | (1969) | 北郷地区町民プールを開設する。 |
| 44年 9月21日 | (1969) | 足柄小学校運動場竣工する。 |
| 44年11月30日 | (1969) | 町営住宅を30戸、用沢、向方、緑ヶ丘に建設。 |
| 45年 1月 1日 | (1970) | 第3子以降の出生児への祝金支給の制度をつくる。 |
| 45年 1月 1日 | (1970) | 町章・町旗を制定する。 |
| 45年 3月30日 | (1970) | 吉久保砂原地区の農業構造改善事業が完成。12.4haの水田が整備される。 |
| 45年 4月29日 | (1970) | 東名富士カントリークラブがオープン。 |
| 45年 5月21日 | (1970) | 落合に中央公民館を設置する。 |
| 45年 6月18日 | (1970) | 北郷中学校屋内体育館を設置する。 |
| 45年 7月29日 | (1970) | 吉久保に町民総合グラウンドを設置する。 |
| 45年 8月20日 | (1970) | 須走中学校の新校舎が完成する。 |
| 45年 9月13日 | (1970) | 中島に町民プールを開設する。 |
| 45年10月 1日 | (1970) | 第11回国勢調査。人口24,256人、世帯数5,236戸。 |
| 45年12月 5日 | (1970) | 町営住宅を30戸、向方、原向、棚頭に建設。 |
| 46年 1月 1日 | (1971) | 農業者年金制度がスタートする。 |
| 46年 2月15日 | (1971) | 足柄小学校体育館が完成。 |
| 46年 3月10日 | (1971) | 御殿場線新柴地先の跨線橋が改築される。 |
| 46年 3月31日 | (1971) | 町営住宅を20戸（茅沼団地）建設。 |
| 46年 3月31日 | (1970) | 菅沼農道（受益面積20.4ha）が完成。 |
| 46年 4月25日 | (1971) | 町長選挙で湯山勝人氏が当選。 |
| 46年 7月 1日 | (1971) | 足柄地域に新宿区立足柄学園が開設される。 |
| 46年 7月11日 | (1971) | 富士グリーンヒルカントリークラブがオープン。 |
| 46年 9月15日 | (1971) | 駿豆地区広域市町村圏を設定する。 |
| 46年10月 1日 | (1971) | 御殿場・小山広域都市計画区域に指定される。 |

昭和46年

昭和48年

- 昭和46年11月30日 (1971) 町営住宅を40戸、茅沼、棚頭、原向、北原、富士向に建設。
- 46年12月16日 (1971) 小山中学校改築第1期工事が完成する。
- 46年12月18日 (1971) 須走幼稚園の改築工事が完成する。
- 46年12月24日 (1971) 国道246号バイパス道路の一部(県境から吉久保)が開通する。
- 47年1月1日 (1972) 児童手当制度が発足する。
- 47年3月28日 (1972) 北部幹線農道が開通する。
- 47年4月1日 (1972) 御殿場市・小山町厚生施設組合を広域行政組合に改組する。
- 47年4月1日 (1972) ねたきり老人の医療費を無料にする。
- 47年5月26日 (1972) 北郷に農業研修センターを開設する。
- 47年5月26日 (1972) 児童体育施設を小山分校横に開設する。
- 47年5月31日 (1972) 静岡銀行小山支店が御殿場支店に合併。
- 47年7月12日 (1972) 集中豪雨が小山町を急襲。12時間に359ミリの雨量を記録。死者3人、流出家屋4戸、全壊家屋13戸、半壊家屋29戸、道路、橋梁、河川、山地崩壊、農地、農作物、水道、水産、鉄道など被害額合計24億円余。災害救助法が適用される。
- 47年7月30日 (1972) 足柄町民プールが完成。
- 47年9月23日 (1972) 足柄峠で第1回笛まつりが行われる。
- 47年10月5日 (1972) 大気汚染など初の東名公害の総合調査が行われる。
- 47年12月18日 (1972) 国道246号バイパスが御殿場市まで開通する。
- 48年1月1日 (1973) 老人医療費支給制度が実施される。
- 48年2月15日 (1973) 町内のひとり暮らし老人の家庭に非常用電話を設置。
- 48年3月20日 (1973) 町営住宅50戸を、茅沼、吉久保に建設。
- 48年4月1日 (1973) 小山中学校改築第2期工事が完成する。
- 48年4月1日 (1973) ねたきり老人、重度心身障害児への見舞金制度が実施される。
- 48年6月22日 (1973) 交通遺児への学業奨励金贈呈制度が実施される。
- 48年7月1日 (1973) 湯山町長が国際地方自治体連合国際会議出席のため渡欧。
- 48年7月1日 (1973) 乳幼児の無料健康診査制度と長期疾患乳幼児の医療費助成制度

昭和48年

昭和50年

が実施される。

- 昭和48年 8月8日 (1973) 電話が小山、須走、御殿場広域時分制になる。
- 48年8月24日 (1973) 北郷地区町民プール完成する。
- 48年9月26日 (1973) 岡山県勝央町の電話ダイヤル自動化で町長が初通話。
- 48年10月25日 (1973) 六合橋掛け替え工事が完成する。
- 48年10月25日 (1973) 甘露寺宝筐院塔と生土乗光寺大森六代の墓が町文化財としてはじめて指定される。
- 48年11月24日 (1973) 岡山県勝央町と姉妹町の縁組を結ぶ。
- 49年1月1日 (1974) 60歳以上のねたきり老人の医療費助成制度と、70歳以上の老人医療費個人負担分の補助制度が発足する。
- 49年2月20日 (1974) 老人ホームの作業棟が完成する。
- 49年2月28日 (1974) 小山中学校改築第3期工事が完成する。
- 49年3月10日 (1974) 須走中学校技術室が完成する。
- 49年3月25日 (1974) 町営住宅18戸を、吉久保北に建設。
- 49年4月1日 (1974) 新生児に誕生証書を贈ることとする。
- 49年6月1日 (1974) 毎月第3日曜日を“防災の日”に定める。
- 49年7月16日 (1974) 足柄小学校と岡山県勝央町の勝間田小学校が姉妹校の縁組を結ぶ。
- 49年7月21日 (1974) 須走小学校プール完成する。
- 49年7月29日 (1974) 町営住宅32戸（須走浅間団地）つくる。
- 49年8月21日 (1974) 北郷小学校校区にサイクリング道路を開設する。
- 49年9月18日 (1974) 70歳以上のお年寄りに敬老祝金を贈ることとする。
- 50年2月18日 (1975) 駿河幼稚園が完成する。
- 50年2月28日 (1975) 町営住宅18戸（茅沼団地）つくる。
- 50年2月28日 (1975) 県営住宅40戸（生土）が完成する。
- 50年3月31日 (1975) 中島貯水池が完成する。
- 50年4月13日 (1975) 県議会議員選挙で湯山利氏が当選。
- 50年4月13日 (1975) 母子家庭の医療費と重度身障者児の医療費負担制度が発足する。

昭和50年

昭和53年

| | | |
|-------------|--------|---|
| 昭和50年 4月27日 | (1975) | 町長選挙で湯山勝人氏が再選。 |
| 50年 5月11日 | (1975) | 須川橋掛け替え工事が完成する。 |
| 50年 7月31日 | (1975) | 災害復旧記念式典行われる。 |
| 50年 8月25日 | (1975) | 小山町有線放送須走局が開局する。 |
| 51年 2月26日 | (1976) | 足柄小学校区にサイクリング道路を開設する。 |
| 51年 3月28日 | (1976) | 青少年会館が完成する。 |
| 51年 4月 1日 | (1976) | 御殿場市とのし尿処理場の共用が開始される。 |
| 51年 5月24日 | (1976) | 小山中学校図書館と併設の町立図書館が同校校舎の一部に独立オープンする。 |
| 51年10月12日 | (1976) | 都市計画法に基づく市街化区域・市街化調整区域・用途地域が決定される。 |
| 52年 3月 5日 | (1977) | 須走地区児童体育施設が完成する。 |
| 52年 3月30日 | (1977) | 北郷保育所の改築が完成する。 |
| 52年 4月 1日 | (1977) | 第3子以降の出生児への祝金制度を廃止する。 |
| 52年 6月30日 | (1977) | 上野沢橋（掛替工事）が完成する。 |
| 52年 7月18日 | (1977) | 成美小学校区にサイクリング道路が開設する。 |
| 52年10月25日 | (1977) | 小山中学校運動場として14,775.71m ² を買収。 |
| 52年11月18日 | (1977) | 「青色申告宣言の町」宣言式が行われる。 |
| 53年 2月17日 | (1978) | 菅沼地区児童屋内体育施設が完成する。 |
| 53年 2月21日 | (1978) | 須走地区児童屋内体育施設に暖房施設が完成する。 |
| 53年 3月10日 | (1978) | 老人福祉センターに難聴者用公衆電話シルバーホンを設置する。 |
| 53年 3月20日 | (1978) | 新須走保育所が完成する。 |
| 53年 4月24日 | (1978) | 町民健康センターがオープンする。 |
| 53年 7月 5日 | (1978) | 小山郵便協力会が設立される。 |
| 53年11月 3日 | (1978) | 手揉み製茶技術の芹沢元治さんが、県無形文化財保持者に認定。 |
| 53年11月13日 | (1978) | 足柄出張所に老人いこいの家が完成、オープンする。 |
| 53年12月 3日 | (1978) | 第1回富士小山マラソン大会が開かれ、441人が参加。 |

昭和54年

昭和57年

- 昭和54年 1月31日 (1979) 藤曲地区児童屋内体育施設が完成する。
- 54年 3月25日 (1979) 北郷小学校舎増築、給食室が完成する。
- 54年 4月 8日 (1979) 県議会議員選挙で長田央氏が当選。
- 54年 4月22日 (1979) 町長選挙で湯山勝人氏が三選。
- 54年 6月23日 (1979) 第1回富士山クリーン作戦が行われる。
- 54年 8月20日 (1979) 小山町健康づくり推進協議会が発足する。
- 54年10月19日 (1979) 台風20号襲来。3時間に191ミリ、死者1人、全半壊家屋6戸、31億4千万円の大被害。
- 55年 4月16日 (1980) 富士山をいつまでも美しくする会が発足。
- 55年 5月 3日 (1980) 金時まつりに武者行列が登場する。
- 55年11月 1日 (1980) 小山町有線放送と消防署須走分遣所が、業務を開始する。
- 55年11月 1日 (1980) 上横山遺跡の発堀調査はじまる。
- 56年 2月28日 (1981) 町営住宅南藤曲団地12戸が完成する。
- 56年 3月14日 (1981) 用沢地区児童屋内体育施設が完成する。
- 56年11月25日 (1981) 上古城コミュニティセンターが完成する。
- 56年11月27日 (1981) 一色コミュニティセンターが完成する。
- 56年12月18日 (1981) 役場北郷支所庁舎が完成する。
- 57年 1月 7日 (1982) 役場新庁舎建設工事の起工式が行われる。
- 57年 3月12日 (1982) 町営住宅南藤曲団地3号棟16戸が完成する。
- 57年 3月15日 (1982) 北郷中学校グラウンドに夜間照明施設が完成する。
- 57年 3月20日 (1982) 小山地区に有線ラジオ放送施設が完成し、町内全戸にスピーカーを設置する。
- 57年 3月23日 (1982) 生土など9カ所にモーターサイレンを設置する。
- 57年 4月 1日 (1982) 県営住宅小山第2団地の入居開始。
- 57年 5月 6日 (1982) 婦人の園「インマヌエル」が、大御神に開園する。
- 57年 5月29日 (1982) 京都府大江町と観光友好提携。
- 57年 8月 1日 (1982) 町の花「菜の花」、木「ふじ桜」、鳥「うぐいす」を制定する。

昭和57年

昭和60年

- 昭和57年 8月1日 (1982) 台風10号襲来、雨量570ミリ、約37億円の大被害。
- 57年11月30日 (1982) 役場新庁舎が完成。地上4階、地下1階、延べ床面積5,137m²。
- 57年12月5日 (1982) 町制70周年、新庁舎落成記念式典を挙行する。また、町民憲章を制定する。
- 58年3月25日 (1983) 須走支所併設コミュニティセンターが完成する。
- 58年4月10日 (1983) 県議会議員選挙で長田央氏が再選。
- 58年4月24日 (1983) 町長選挙で高橋春雄氏が当選。
- 58年7月1日 (1983) 役場機構改革を実施。
- 58年8月8日 (1983) 震度5の神奈川県西部地震が発生。4億5千万円の被害。
- 58年12月16日 (1983) 社会福祉協議会が法人化される。
- 59年1月1日 (1984) 役場業務の一部が電算化される。
- 59年3月24日 (1984) 生土保育所改築事業が完成する。
- 59年3月25日 (1984) 足柄支所併設コミュニティセンターが完成する。
- 59年4月1日 (1984) 町史編さん事業がスタートする。
- 59年6月14日 (1984) 東富士五湖道路の起工式が行われる。
- 59年8月1日 (1984) 乾電池の分別収集をはじめる。
- 59年9月5日 (1984) 成美小学校の校舎、給食室が完成する。
- 59年11月30日 (1984) 大御神コミュニティセンターが完成する。
- 59年12月21日 (1984) 竹之下太鼓が町の無形民俗文化財第1号に指定される。
- 60年3月19日 (1985) 宝鏡寺の木造地蔵菩薩座像が県の有形文化財に指定される。
- 60年3月20日 (1985) 足柄峠遊歩道が完成し、「あづまはや橋」の渡り初めが行われる。
- 60年3月24日 (1985) 御殿場高校小山分校が閉校される。
- 60年4月1日 (1985) 静岡県立小山高校が開校する。
- 60年9月2日 (1985) 21世紀に向けての町づくり小山町総合計画基本構想を臨時議会で議決する。
- 60年10月25日 (1985) 事務事業の効率化と省力化をめざす「行政改革懇談会」が発足する。



平成元年

| | | |
|-------------|--------|--|
| 昭和60年11月17日 | (1985) | 文化連盟創立30周年を記念して、第1回新ヴィヴァルディ合奏団の公演が開かれる。 |
| 60年12月20日 | (1985) | 行政改革大綱を議会に報告する。 |
| 61年1月1日 | (1986) | 県の自然100選に、「明神峠のブナ天然林」と「金時山・乙女峠のブナ林」が選ばれる。 |
| 61年3月20日 | (1986) | 広域農道小山町分3.4km全線が開通する。 |
| 61年3月20日 | (1986) | 足柄小学校改築工事が完成する。 |
| 61年3月26日 | (1986) | 東富士リサーチパークに経団連ゲストハウスが完成する。 |
| 61年3月30日 | (1986) | 町営住宅緑ヶ丘団地12戸が完成する。 |
| 61年8月1日 | (1986) | 棚頭工業専用地域20haの造成工事はじまる。 |
| 62年2月20日 | (1987) | 須走小学校の第1期改築工事、教室棟が完成する。 |
| 62年2月29日 | (1987) | 新商工会館が完成する。 |
| 62年4月1日 | (1987) | ゴミ収集業務の北郷、須走地区を民間委託する。 |
| 62年4月26日 | (1987) | 町長選挙で田代和男氏当選。県議会議員選挙で長田央氏三選。 |
| 62年9月1日 | (1987) | 文化財のしおりの改訂版と再版を発行する。 |
| 62年9月1日 | (1987) | 須走小学校第2期工事、管理棟が完成する。 |
| 62年10月26日 | (1987) | 棚頭工業専用地域として開発をすすめていた富士小山工業団地が完成する。立地企業は18社に。 |
| 62年11月1日 | (1987) | ハイテクパーク富士小山の造成工事はじまる。 |
| 63年1月27日 | (1988) | 東富士五湖道路、籠坂トンネルが開通する。 |
| 63年3月25日 | (1988) | 中島、落合の両コミュニティセンターが完成する。 |
| 63年6月1日 | (1988) | 総合文化施設の基本プラン決まる。 |
| 63年7月1日 | (1988) | 休耕田を利用した家庭菜園がスタート。 |
| 63年8月1日 | (1988) | 浩宮殿下（現在の皇太子殿下）が須走口から富士登山。 |
| 63年9月1日 | (1988) | 医療問題協議会が発足。 |
| 平成元年2月1日 | (1989) | 小山町赤十字奉仕団を結成。 |
| 元年3月29日 | (1989) | 東富士五湖道路全線開通。 |

平成2年

平成10年

- 平成2年10月1日（1990） 第15回国勢調査。人口23,566人、世帯数6,753戸。
- 2年11月18日（1990） 小山町国際友好協会設立。
- 3年2月14日（1991） シルバー人材センター設立。
- 4年2月14日（1992） 総合文化会館落成式。
- 4年4月11日（1992） 富士フェニックス短期大学開校。
- 4年8月1日（1992） 町制80周年記念式典挙行。
- 5年4月15日（1993） 駿河小山駅前に観光案内所オープン。
- 6年6月23日（1994） 小山球場、多目的広場完成。
- 7年3月28日（1995） 菅沼に町立診療所が完成。
- 7年10月1日（1995） 第16回国勢調査。人口22,780人、世帯数6,522戸。
- 8年3月14日（1996） 総合体育館完成。
- 8年9月1日（1996） 静岡県総合防災訓練を須走総合グラウンドで実施。
- 8年10月7日（1996） カナダ・ミッション市と国際姉妹都市提携。
- 9年2月1日（1997） 北郷中学校給食施設業務開始。
- 9年3月2日（1997） 小山道場完成。
- 9年3月31日（1997） 藤曲保育所廃園。
- 9年4月1日（1997） 空き缶等ポイ捨て防止に関する条例施行。
- 9年4月2日（1997） 山北町と災害時相互援助協定締結。
- 9年6月9日（1997） 中山間地域総合整備事業が事業採択される。
- 9年7月12日（1997） 小山町日中友好協会設立。
- 9年10月16日（1997） 須走の東富士演習場内に小山佐野川調整池完成。
- 9年12月7日（1997） 足柄駅前郵便局完成。
- 10年2月9日（1998） 沖縄県道104号線越え実弾射撃の分散実施訓練が東富士演習場で始まる。
- 10年3月26日（1998） 足柄駅前の土地区画整理事業完成。
- 10年4月17日（1998） 滝沢川砂防事業完成。
- 10年4月22日（1998） 須走小・中学校共同給食開始。

平成10年

平成16年

- 平成10年 6月1日 (1998) 竹之下地区で温泉掘削。
- 10年12月25日 (1998) 第二東名の御殿場～秦野間を整備計画区间に格上げ。
- 10年12月25日 (1998) 「小山町史」第8巻を発行（翌年2月発刊）し、全9巻が完成。
- 11年4月1日 (1999) 須走地区下水道一部供用開始。
- 12年4月1日 (2000) 健康福祉会館「ふじみセンター」オープン。
- 12年4月3日 (2000) 自衛隊富士病院一般開放。
- 12年5月29日 (2000) 足柄駅前クリニック開院。
- 12年7月1日 (2000) 富士山須走口五合目に公衆トイレ開設。
- 12年10月1日 (2000) 第17回国勢調査。人口22,235人、世帯数6,530戸。
- 13年6月25日 (2001) 小山駅前郵便局が音渕商店街近くに移転し、金太郎郵便局として開局。
- 13年8月13日 (2001) 須走幼稚園落成式。
- 13年10月19日 (2001) 小山公園オープン。
- 13年12月1日 (2001) 駿河小山駅駐車場オープン。
- 14年8月1日 (2002) 町制90周年記念式典挙行。
- 15年4月2日 (2003) パークゴルフ場オープン。
- 15年6月2日 (2003) 富士山須走口観光案内所開設。
- 15年10月26日 (2003) 第58回わかふじ国体銃剣道大会が小山町で行われる。
- 16年3月6日 (2004) 健康福祉会館のゆったり湯の利用者30万人達成。
- 16年3月9日 (2004) 小山町消防団第6分団の車庫詰所が、一色交差点脇からJA北郷支店付近に移転し完成。
- 16年3月20日 (2004) 小山町体育協会創立50周年記念式典を挙行。
- 16年3月31日 (2004) 湯山清さん（一色）が、手揉み製茶技法で、県無形文化財保持者に認定される。
- 16年4月1日 (2004) 役場職員の事務服を廃止。
- 16年4月27日 (2004) 須走・須走東災害対策センターが竣工。
- 16年5月15日 (2004) 駿東学園が創立30周年を迎える。

平成16年

平成18年

- 平成16年 6月12日 (2004) 日本で初めて探鳥会が行われた須走で、日本野鳥の会70周年記念行事が行われ、浅間神社境内に記念碑が建立される。
- 16年 6月21日 (2004) 小山町の地域再生計画が認定され、小泉首相から小山町長へ認定書が授与された。
- 16年 7月11日 (2004) 参議院議員選挙。期日前投票制度が実施された初めての選挙。
- 16年 7月18日 (2004) 陸上自衛隊富士学校、富士駐屯地の開設50周年記念式典が行われる。
- 16年 7月30日 (2004) 豊門会館などが富士紡績の関連団体「財団法人豊門会館」から町に寄贈される。
- 16年 9月 1日 (2004) 県総合防災訓練が小山町と御殿場市を中央会場に開催され、小泉首相や県知事などが来町。
- 16年10月14日 (2004) 19日まで、ミッション市長を団長に親善訪問団が小山町を訪問。
- 16年10月22日 (2004) 県立小山高校創立20周年記念式典を挙行。
- 16年11月25日 (2005) 道の駅「ふじおやま」が開駅。
- 17年 1月12日 (2005) 町民いこいの家「あしがら温泉」オープン。
- 17年 4月 1日 (2005) 富士スピードウェイがリニューアルオープン。
- 17年 8月 9日 (2005) 農村活性化施設「ふじあざみ」開設。
- 17年 9月 1日 (2005) 國土緑化推進機構の「森の名手・名人」に、中島の山崎彰一さんが県東部で初めて認定される。
- 17年10月 1日 (2005) 第18回国勢調査。人口21,478人、世帯数6,669戸。
- 17年10月15日 (2005) 小山町文化連盟創立50周年記念式典が行われる。
- 17年11月 1日 (2005) 須走中学校の新校舎の落成式が行われる。
- 17年11月10日 (2005) 豊門会館和館・洋館、豊門公園西洋館、森村橋などが、國登録有形文化財に登録。
- 18年 5月 5日 (2006) 富士浅間神社で、御鎮座1200年前年祭を開催。
- 18年 6月 7日 (2006) あしがら温泉が利用者10万人を達成。
- 18年 6月22日 (2006) 29日まで、ミッション市長を団長に親善訪問団が小山町を訪問。

平成18年

平成23年

- 平成18年 8月24日 (2006) 須走の東口本宮富士浅間神社社殿を、町指定文化財（有形文化財）に指定。
- 18年11月19日 (2006) 小山町日中友好協会設立10周年記念式典を実施。
- 19年 4月19日 (2007) 須走なかよし公園西側区域オープン。
- 19年 9月28日 (2007) F1日本グランプリが富士スピードウェイで約30年ぶりに開催。
- 20年 3月15日 (2008) 小山町のB級グルメとして御殿場コシヒカリのおこげ「おやまあ！おこげ」発売。
- 20年 5月17日 (2008) ウォーキングイベント「オックスファム・トレイルウォーカージャパン」初開催。
- 20年 6月 1日 (2008) 須走なかよし公園東側区域オープン。
- 20年 7月 8日 (2008) 松村家住宅主屋（須走）が国登録有形文化財に登録。
- 20年11月 6日 (2008) 富士山ナンバー交付開始。
- 21年 2月20日 (2009) 足柄小学校開校100周年記念式典を挙行。
- 21年10月18日 (2009) カナダ・ミッション市からハウスポストの寄贈、建立。
- 21年10月25日 (2009) 第24回国民文化祭しづおか2009「民謡・民舞の祭典」が小山町で開催。
- 21年11月15日 (2009) 従来のハイキングコースを整備し、全長43kmの「富士箱根トレイル」開通。
- 22年 4月 1日 (2010) 駿河幼稚園と小山幼稚園が合併し、駿河小山幼稚園となる。
- 22年 4月 1日 (2010) 農村公園「足柄ふれあい公園」開園。
- 22年 9月 8日 (2010) 台風9号に伴う豪雨により、町内に甚大な被害発生。
- 22年10月 1日 (2010) 第19回国勢調査。人口20,629人、世帯数6,564戸。
- 22年11月 7日 (2010) 明倫小学校開校100周年記念式典を挙行。
- 23年 4月14日 (2011) 道の駅「すばしり」観光交流センターがオープン。
- 23年 4月26日 (2011) 養護老人ホーム・特別養護老人ホーム「平成の杜」落成。
- 23年11月12日 (2011) 袋井市で開催された第19回県中学駅伝で、小山中男子駅伝部が初優勝。



平成24年

- 平成23年12月3日 (2011) 市町対抗駅伝で町の部3位入賞の快挙。
- 23年12月18日 (2011) 山口県で開催された第19回全国中学校駅伝大会で、小山中男子駅伝部が県代表として初出場し9位。
- 24年2月27日 (2012) デイサービスセンター「平成の杜」開所。
- 24年5月18日 (2012) 山岳レース「ウルトラトレイル・マウントフジ」を初開催。
- 24年8月1日 (2012) 町制施行100年を迎える。



小山町町制施行100周年記念事業(平成24年度)

- 4/1** 町民ゴルフ大会 東富士カントリークラブ
4/4 100周年記念名刺台紙作成
4/12 NHKBS日本の歌公開録画 総合文化会館
4/14~15 佐野川桜まつり 一色平沢公園(佐野川沿い)



- 4/23** カウントダウン100 役場本庁1階



- 5/1** 町民ゴルフ大会 富士ヘルスカントリークラブ
5/3 富士山金太郎春まつり 中島金時公園(総合体育館)



- 5/12** 図書館こども読書の日 総合文化会館
 感謝のき「もち」記念事業
 所領地区ほ場・田植体験



- 5/15** 橫断幕及び懸垂幕作成
 役場本庁、道の駅ふじおやま、
 道の駅すばしり、足柄駅前
 小山町田んぼアート田植え
 道の駅「ふじおやま」周辺水田



- 6/1** のぼり旗作成 小山町内

- 6/2~3** 春季展示会 健康福祉会館

- 6/10** 図書館教養講座 総合文化会館

- 6/13** 町民ゴルフ大会 笠坂ゴルフクラブ

- 100周年ポスター作成

- 6/17** 民踊の祭典 総合文化会館

- 6/9・10** さつき・草山展示会 健康福祉会館

- 6/24** 出張!なんでも鑑定団 総合文化会館

- 金太郎産湯の里・湯船あじさい祭り
 湯船公民館



- 6/30** おやま健康フェスタ 総合体育館



4月 April

5月 May

6月 June

10月 October

- 10/3** 町民ゴルフ大会
 富士平原ゴルフクラブ



- 10/6** レクスボ祭
 総合体育館 他



- 10/8** 町民体育大会
 多目的グラウンド



- 10/13** 図書館児童文学講演会 総合文化会館
 三世代ふれあいの集い
 総合体育館



- 10/14** 小山町産業祭
 総合文化会館



- 10/20** 小山町100年song「ふるさとの風」CD収録



- 10/20~28** 町民文化祭
 総合文化会館



- 10/27** 富士箱根トレイル
 紅葉ハイキング
 富士箱根トレイル

11月 November

- 11/1~1/31** 金太郎食いしんぼラリー 小山町内



- 11/11** 町民パークゴルフ大会 小山町パークゴルフ場
 図書館教養講座(初級読み聞かせ講座) 総合文化会館

- 11/12~12/31** SBSラジオCM放送
 (もみじ祭り、金時山・足柄峠DE初日の出)



- 11/14** 静岡新聞掲載
 (秋の行事等)

- 11/15** 富士スプリントカップ
 公開車検祭り
 総合文化会館



- 11/16** 「税に関する作品」応募者
 記念品贈呈 町内小中学校



- 11/17~23** 豊門公園・もみじ祭り
 ライトアップ 豊門公園



- 11/20** 第100回
 町民ゴルフ大会
 富士国際ゴルフ倶楽部

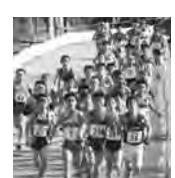


- 11/23** わくわく幼稚園まつり 総合文化会館

- 11/25** スタインウェイピアノリサイタル 総合文化会館

12月 December

- 12/8** 社会福祉大会 総合文化会館



- 12/11** 町民ゴルフ大会 富士小山ゴルフクラブ

- 12/16** 小山町駅伝部
 全国大会出場支援事業
 山口県山口市

- テレビ寺子屋公開録画
 総合文化会館

- 12/21** きんたろう議会 町議会議場



- 12/22** おやまDEXメリクリ2012
 総合文化会館

- 12/23** 小山JFCクリスマス・カップ(8人制)大会
 多目的グラウンド 他

- 12/23** 富士マラソンフェスタ
 富士スピードウェイ

- 12月~3月** 金太郎飴製造





7/1
富士山開山式
須走口富士浅間神社



7/1・5・8・12
町民スポーツ祭
多目的グラウンド 他

7/1~9/30
おやま元気プレミアム商品券発行 小山町内

7/6~15
ミッション市学生訪問
小山町内



7/13
子ども議会 町議会議場
飲料ペットボトル配布 小山町内

7/19
缶バッジ作成

7/21
子ども会球技大会
多目的グラウンド総合体育馆

7/21~23
スポーツ交流事業
北郷中学校 他

7/23
町民ゴルフ大会 富士平原ゴルフクラブ

7/28
富士山金太郎夏まつり
足柄ふれあい公園(鮎沢川)・総合文化会館



7/30~8/7
ミッション市訪問団来町
小山町内



8/1
町制施行100周年記念式典
総合文化会館



金太郎特別住民票交付

金太郎シンボルデザイン決定

足柄ふれあい公園

パークゴルフ無料開放

足柄ふれあい公園



8/3~9
中国・海寧市学生訪問
小山町内

8/5
おやまハンドレッドフェスティバル 総合文化会館



8/8~12
国際絵本展 総合文化会館

8/9
ドラムストラック

総合文化会館

8/22
第99回町民ゴルフ大会
足柄森林カントリー倶楽部

8/26 囲碁大会 総合文化会館

8/31 富士山開山式 須走口富士浅間神社

9/2

全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会強化練成会 総合体育馆

9/7
防災講演会 総合文化会館

9/8

100歳慶祝記念品贈呈 小山町内

心の健康啓発映画上映「ツレがうつになりました」
総合文化会館

9/9
足柄峠笛まつり 足柄峠笛塚・足柄城址広場



9/17
町民ゴルフ大会 富士国際ゴルフ倶楽部

9/22
島田歌穂・音楽朗誦劇 総合文化会館

9/23
町民ゴルフ大会 太陽カントリークラブ

9/27
小山町田んぼアート稻刈り 道の駅「ふじおやま」周辺水田



9/30
ふれあい広場

福祉祭り
総合文化会館



7月 July

8月 August

9月 September

1月 January

2月 February

3月 March

1/1
金時山・足柄峠DE初日の出 金時山頂・足柄峠



1/2
町民ゴルフ大会
富士クリーンヒルゴルフコース

1/12・19
町制施行100周年記念番組放送(SBSテレビ・BS-TBS)

1/18
まちづくりフォーラム
総合文化会館

1/20
町内一周駅伝
小山町内

1/31
友好の鐘寄贈
カナダ・ミッション市



2/2
創年のつどい 総合文化会館

2/3
ヤマメ放流事業 鮎沢川 他町内河川

2/9
100周年レシピコンテスト 総合文化会館



2/10
町民ゴルフ大会 東名富士カントリークラブ

2/16
スポーツ少年団交流大会
総合体育馆



3/27

一般国道246号中島インター、一般県道山中湖小山線
(藤曲バイパス)開通記念フェスタ 小山町藤曲地先

3/30

綾戸智恵コンサート 総合文化会館

土地・気象、小山町の位置

本町は静岡県の北東端に位置し、東を神奈川県に、北西を山梨県に接している県境の町です。

北西端は富士山頂まで達しており、富士山を頂点とした富士外輪状の三国山系と、北東方は丹沢山地、東南方は箱根外輪山・足柄山嶺にとり囲まれ東西に長く伸びています。

標高の最高地点は富士山の3,776メートルですが、市街地・農耕地はおよそ300メートルから800メートルの間にわたる緩傾斜地帯にあります。小山と須走地区の標高差は約500メートルあり、河川は富士・箱根山麓に発する鮎沢川が、馬伏川、須川、野沢川を合して東に流れ、酒匂川となって相模湾にそそいでいます。

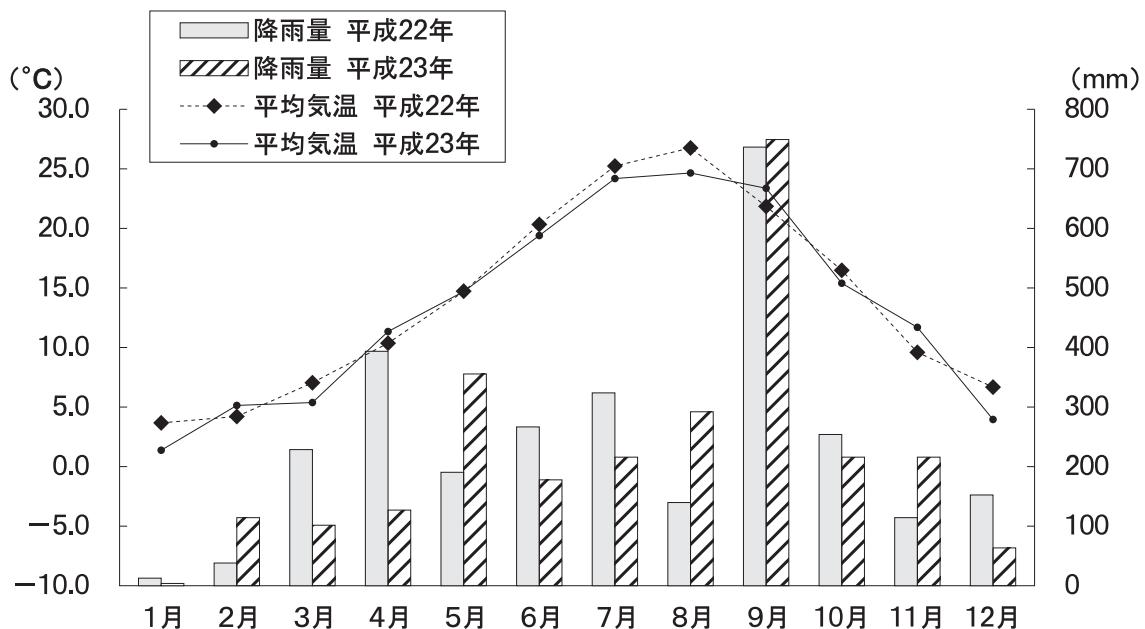


面積は136.13km²で、大きく小山、足柄、北郷、須走の4地域からなっています。

- ・小山地区 28.05km^2 海拔 267m (小山町役場)
 - ・足柄地区 20.17km^2 海拔 331m (足柄支所)
 - ・北郷地区 45.37km^2 海拔 442m (北郷支所)
 - ・須走地区 42.54km^2 海拔 786m (須走支所)
 - ・位置 東経138度59分、北緯 35度24分
 - ・広ぼう 東西26.04km、南北13.33km

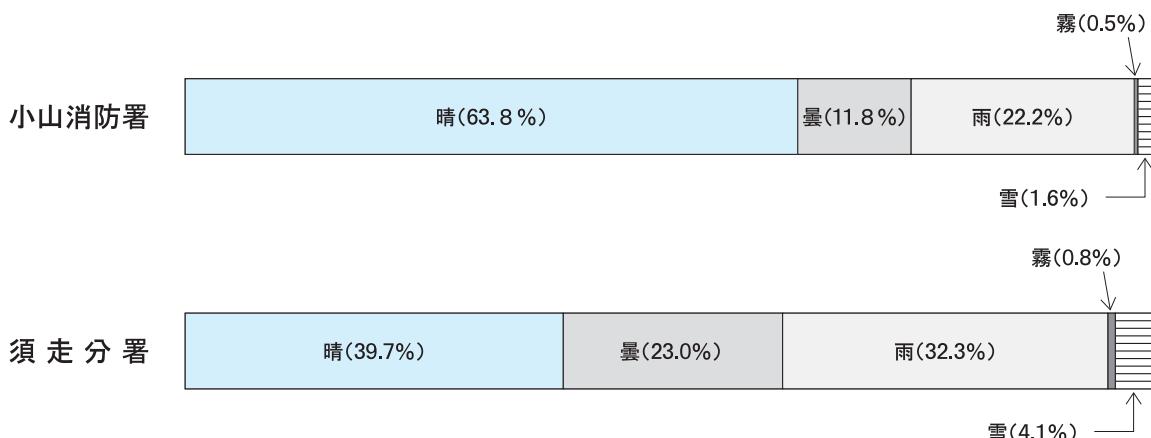
気象概要

気温・降雨量



平成23年月別天候

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合計 | 年間の率 | |
|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|------|------|
| 小山消防署 | 晴 | 20 | 11 | 13 | 14 | 20 | 18 | 22 | 27 | 19 | 18 | 25 | 26 | 233 | 63.8 |
| | 曇 | 8 | 7 | 7 | 3 | 5 | 3 | 2 | 2 | 4 | 2 | 0 | 0 | 43 | 11.8 |
| | 雨 | 2 | 5 | 9 | 13 | 6 | 9 | 7 | 2 | 7 | 11 | 5 | 5 | 81 | 22.2 |
| | 霧 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0.5 |
| | 雪 | 0 | 4 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 1.6 | |
| 須走分署 | 晴 | 24 | 7 | 9 | 9 | 10 | 6 | 11 | 14 | 14 | 7 | 16 | 18 | 145 | 39.7 |
| | 曇 | 3 | 9 | 7 | 3 | 9 | 10 | 4 | 7 | 7 | 13 | 8 | 4 | 84 | 23.0 |
| | 雨 | 2 | 4 | 10 | 18 | 12 | 12 | 16 | 10 | 9 | 11 | 6 | 8 | 118 | 32.3 |
| | 霧 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0.8 |
| | 雪 | 2 | 8 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 15 | 4.1 | |



人口の推移

人口と世帯数

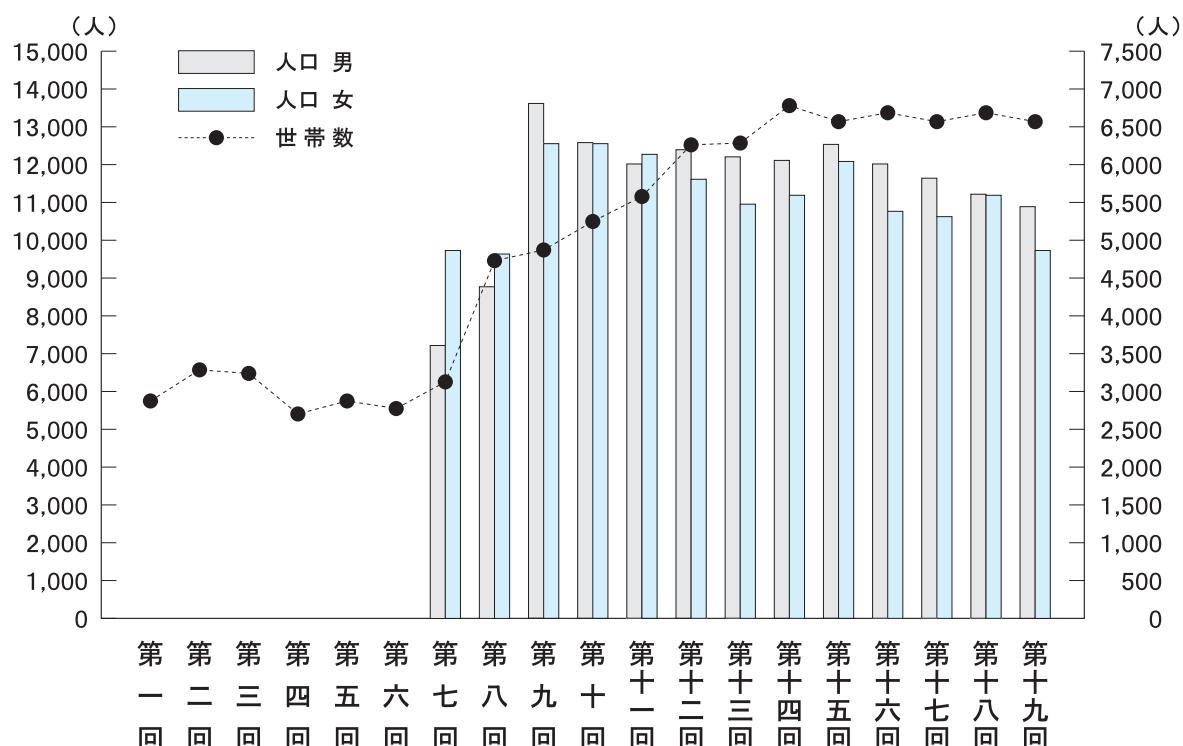
(単位:人、世帯)各年10月1日現在

| 年 次 | 人 口 | | | 世 帯 数 |
|----------|--------|--------|--------|-------|
| | 男 | 女 | 総 数 | |
| 第1回 大正9年 | | | 17,563 | 2,986 |
| 2回 14年 | | | 19,105 | 3,303 |
| 3回 昭和5年 | | | 16,916 | 3,213 |
| 4回 10年 | | | 15,233 | 2,762 |
| 5回 15年 | | | 13,681 | 2,345 |
| 6回 22年 | | | 16,658 | 2,922 |
| 7回 25年 | 7,064 | 9,739 | 16,803 | 2,844 |
| 8回 30年 | 7,860 | 9,413 | 17,273 | 3,181 |
| 9回 35年 | 13,413 | 12,531 | 25,944 | 4,720 |
| 10回 40年 | 12,689 | 12,612 | 25,301 | 4,980 |
| 11回 45年 | 12,055 | 12,201 | 24,256 | 5,236 |
| 12回 50年 | 12,404 | 11,668 | 24,072 | 5,575 |
| 13回 55年 | 12,242 | 10,970 | 23,212 | 6,217 |
| 14回 60年 | 12,091 | 11,186 | 23,277 | 6,294 |
| 15回 平成2年 | 12,517 | 11,049 | 23,566 | 6,753 |
| 16回 7年 | 12,011 | 10,769 | 22,780 | 6,522 |
| 17回 12年 | 11,693 | 10,542 | 22,235 | 6,530 |
| 18回 17年 | 11,282 | 10,196 | 21,478 | 6,669 |
| 19回 22年 | 10,908 | 9,721 | 20,629 | 6,564 |

(注) 富士学校宿舎、施設入所者、学校の寮等は棟ごと一世帯／会社の寮等は一人一世帯

資料:国勢調査

| | | | |
|------------|--------|-------|--------|
| 参考 平成24年 | 10,418 | 9,771 | 20,189 |
| ※資料:住民基本台帳 | | | |



地区別人口と世帯数

(単位:人、世帯)各年10月1日現在

| 区分 | | 昭和60年 | | | 平成2年 | | | 平成7年 | | | | | |
|----|----|--------|--------|-------------|--------|--------|-------------|-------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | | 人口 | 世帯数 | 人口 | | | 世 帯 数 | 人口 | | | | | |
| | | | | 総数 | 男 | 女 | | 総数 | 男 | 女 | | | |
| 小山 | 成美 | 10,696 | 3,257 | 6,241 | 3,089 | 3,152 | 1,950 | 5,721 | 2,803 | 2,918 | 1,739 | | |
| | 明倫 | | | 3,985 | 1,888 | 2,097 | 1,307 | 3,598 | 1,719 | 1,879 | 1,082 | | |
| 足柄 | | 1,635 | 416 | 1,719 | 900 | 819 | 491 | 1,717 | 845 | 872 | 474 | | |
| 北郷 | | 5,849 | 1,463 | 5,941 | 2,946 | 2,995 | 1,537 | 6,133 | 3,030 | 3,103 | 1,655 | | |
| 須走 | | 5,124 | 1,296 | 5,680 | 3,694 | 1,986 | 1,468 | 5,611 | 3,614 | 1,997 | 1,572 | | |
| 総数 | | 23,277 | 6,294 | 23,566 | 12,517 | 11,049 | 6,753 | 22,780 | 12,011 | 10,769 | 6,522 | | |
| 区分 | | 平成12年 | | | 平成17年 | | | 平成22年 | | | | | |
| | | 人口 | | 世 帯 数 | 人口 | | | 世 帯 数 | 人口 | | | | |
| | | 総数 | 男 | 女 | 総数 | 男 | 女 | 世 帯 数 | 総数 | 男 | 女 | | |
| 小山 | 成美 | 5,159 | 2,495 | 2,664 | 1,633 | 4,621 | 2,222 | 2,399 | 1,536 | 4,046 | 1,971 | 2,075 | 1,403 |
| | 明倫 | 3,342 | 1,639 | 1,703 | 982 | 3,127 | 1,542 | 1,585 | 975 | 2,878 | 1,425 | 1,453 | 976 |
| 足柄 | | 1,983 | 972 | 1,011 | 550 | 2,056 | 1,021 | 1,035 | 621 | 2,218 | 1,075 | 1,143 | 679 |
| 北郷 | | 5,945 | 2,890 | 3,055 | 1,626 | 5,861 | 2,840 | 3,021 | 1,683 | 5,842 | 2,848 | 2,994 | 1,732 |
| 須走 | | 5,806 | 3,697 | 2,109 | 1,739 | 5,813 | 3,657 | 2,156 | 1,854 | 5,645 | 3,589 | 2,056 | 1,774 |
| 総数 | | 22,235 | 11,693 | 10,542 | 6,530 | 21,478 | 11,282 | 10,196 | 6,669 | 20,629 | 10,908 | 9,721 | 6,564 |

資料:国勢調査

年齢5歳階級別男女別人口の推移

(単位:人、世帯)各年10月1日現在

| 区分 | 昭和60年 | | 平成2年 | | 平成7年 | | 平成12年 | | 平成17年 | | 平成22年 | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 総 数 | 12,091 | 11,186 | 12,517 | 11,049 | 12,011 | 10,769 | 11,693 | 10,542 | 11,282 | 10,196 | 10,908 | 9,721 |
| 0～4才 | 801 | 823 | 679 | 642 | 633 | 618 | 568 | 579 | 507 | 446 | 478 | 434 |
| 5～9 | 864 | 872 | 779 | 796 | 686 | 635 | 615 | 598 | 557 | 552 | 493 | 437 |
| 10～14 | 866 | 857 | 788 | 778 | 680 | 697 | 637 | 585 | 548 | 567 | 498 | 490 |
| 15～19 | 865 | 788 | 933 | 896 | 787 | 691 | 690 | 610 | 575 | 503 | 491 | 479 |
| 20～24 | 1,153 | 663 | 1,295 | 603 | 1,080 | 700 | 924 | 554 | 818 | 497 | 724 | 381 |
| 25～29 | 1,075 | 765 | 1,063 | 688 | 1,075 | 604 | 1,041 | 683 | 921 | 572 | 778 | 459 |
| 30～34 | 1,148 | 907 | 1,037 | 784 | 1,017 | 749 | 965 | 630 | 973 | 710 | 952 | 603 |
| 35～39 | 1,035 | 831 | 1,080 | 831 | 983 | 701 | 884 | 668 | 863 | 613 | 864 | 660 |
| 40～44 | 718 | 652 | 969 | 759 | 912 | 755 | 821 | 674 | 755 | 600 | 760 | 557 |
| 45～49 | 671 | 670 | 732 | 622 | 871 | 719 | 887 | 733 | 752 | 645 | 668 | 576 |
| 50～54 | 773 | 696 | 655 | 667 | 651 | 612 | 814 | 720 | 829 | 711 | 702 | 623 |
| 55～59 | 654 | 663 | 710 | 665 | 567 | 645 | 612 | 615 | 757 | 706 | 785 | 695 |
| 60～64 | 510 | 544 | 630 | 645 | 636 | 642 | 548 | 626 | 599 | 604 | 718 | 695 |
| 65～69 | 320 | 431 | 465 | 522 | 557 | 627 | 585 | 610 | 518 | 602 | 563 | 589 |
| 70～74 | 260 | 426 | 277 | 404 | 420 | 500 | 489 | 599 | 525 | 585 | 468 | 586 |
| 75～79 | 201 | 272 | 205 | 374 | 222 | 374 | 353 | 454 | 404 | 543 | 446 | 536 |
| 80～84 | 117 | 181 | 141 | 201 | 125 | 302 | 163 | 301 | 249 | 373 | 309 | 493 |
| 85～89 | 44 | 108 | 62 | 124 | 79 | 126 | 56 | 213 | 93 | 220 | 148 | 269 |
| 90～94 | 8 | 31 | 14 | 42 | 30 | 64 | 35 | 69 | 23 | 111 | 42 | 116 |
| 95～99 | 2 | 3 | 2 | 6 | — | 8 | 6 | 15 | 14 | 32 | 7 | 39 |
| 100歳以上 | — | — | — | — | — | — | — | — | 2 | 4 | 1 | 4 |
| 不 詳 | 6 | 3 | 1 | — | — | — | — | 6 | — | — | 13 | — |

資料:国勢調査

年次別年齢3区分別人口と割合

(単位:人、%) 各年10月1日現在

| 年 次 | 人 口 | | | | 割 合 | | |
|-------|--------|-----------------|--------------------|-----------------|-------|--------|-------|
| | 総 数 | 0~14歳 (年少人口) | 15~64歳 (生産年齢人口) | 65歳以上 (老人人口) | 0~14歳 | 15~64歳 | 65歳以上 |
| 昭和35年 | 25,944 | 7,418 | 16,435 | 2,091 | 28.6 | 63.3 | 8.1 |
| 40年 | 25,301 | 6,579 | 16,363 | 2,359 | 26.0 | 64.7 | 9.3 |
| 45年 | 24,256 | 5,609 | 16,100 | 2,547 | 23.1 | 66.4 | 10.5 |
| 50年 | 24,072 | 5,360 | 15,943 | 2,769 | 22.3 | 66.2 | 11.5 |
| 55年 | 23,212 | 5,067 | 15,166 | 2,979 | 21.8 | 65.4 | 12.8 |
| 60年 | 23,277 | 5,083 | 15,781 | 2,404 | 21.8 | 67.8 | 10.3 |
| 平成2年 | 23,566 | 4,462 | 16,264 | 2,839 | 18.9 | 69.0 | 12.1 |
| 7年 | 22,780 | 3,949 | 15,397 | 3,434 | 17.3 | 67.6 | 15.1 |
| 12年 | 22,235 | 3,582 | 14,699 | 3,954 | 16.7 | 68.4 | 18.4 |
| 17年 | 21,478 | 3,177 | 14,003 | 4,298 | 14.8 | 65.2 | 20.0 |
| 22年 | 20,616 | 2,830 | 13,170 | 4,616 | 13.7 | 63.9 | 22.4 |

資料:国勢調査

労働力人口

総人口に対する15歳以上人口と就業、非就業人口

(単位:人) 各年10月1日現在

| 区 分 | 平成12年 | | | 平成17年 | | | 平成22年 | | |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 |
| 総人口 | 22,235 | 11,693 | 10,542 | 21,478 | 11,282 | 10,196 | 20,629 | 10,908 | 9,721 |
| 15歳以上人口 | 18,653 | 9,873 | 8,780 | 18,301 | 9,670 | 8,631 | 17,799 | 9,439 | 8,360 |
| 就業者 | 12,040 | 7,696 | 4,344 | 11,783 | 7,373 | 4,410 | 11,073 | 6,994 | 4,079 |
| 非労働人口 | 6,248 | 1,924 | 4,324 | 6,020 | 1,941 | 4,079 | 6,119 | 2,013 | 4,106 |

資料:国勢調査

労働力状態

(単位:人、%) 各年10月1日現在

| 区 分 | 総人口 | 15歳以 上人口 | 労 働 力 人 口 | | | 非労働 力人口 | 労働力人口割合 | |
|-------|--------|-------------|-----------|--------|------------|------------|---------|----------------------|
| | | | 計 | 就業者 | 完全失 業 者 | | 対総人口 | 労働力率 対15歳以 上人口 |
| 平成7年 | 22,780 | 18,831 | 13,080 | 12,753 | 327 | 5,748 | 57.4 | 69.5 |
| 平成12年 | 22,235 | 18,653 | 12,403 | 12,040 | 363 | 6,248 | 55.8 | 66.5 |
| 平成17年 | 21,478 | 18,301 | 12,188 | 11,783 | 405 | 6,020 | 56.7 | 66.9 |
| 平成22年 | 20,629 | 17,799 | 11,621 | 11,073 | 548 | 6,119 | 56.3 | 65.3 |

(注) 15歳以上人口に労働力状態「不詳」を含む。

資料:国勢調査

(注) 平成17年から労働力率の算出方法が変更となり、以前のものは遡及して算出した。

産業大分類別就業者数及び割合の推移

(単位:人、%) 各年10月1日現在

| 年 次 産 業 | | 昭和60年 | | 平成2年 | | 平成7年 | | 平成12年 | | 平成17年 | | 平成22年 | |
|-------------------|---------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | | 総数 | 構成比 |
| 労 働 力 人 口 | | 13,039 | | 13,711 | | 13,073 | | 12,403 | | 12,188 | | 11,621 | |
| 就 業 者 数 | | 12,815 | 100.0 | 13,484 | 100.0 | 12,753 | 100.0 | 12,040 | 100.0 | 11,783 | 106.4 | 11,073 | 100.0 |
| 第1次産業 | 計 | 692 | 5.4 | 659 | 4.9 | 658 | 5.5 | 499 | 4.1 | 520 | 4.7 | 432 | 3.9 |
| | 農 業 | 657 | 5.1 | 628 | 4.7 | 632 | 5.2 | 475 | 3.9 | 507 | 4.6 | 402 | 3.6 |
| | 林 業 | 27 | 0.2 | 22 | 0.2 | 21 | 0.2 | 16 | 0.1 | 7 | 0.1 | 27 | 0.2 |
| 第2次産業 | 漁 業 | 8 | 0.1 | 9 | 0.0 | 5 | 0.0 | 8 | 0.1 | 6 | 0.1 | 3 | 0.0 |
| | 計 | 4,899 | 38.2 | 5,133 | 38.1 | 4,125 | 34.3 | 3,557 | 29.6 | 3,108 | 28.1 | 2,780 | 25.1 |
| | 鉱 業 | 17 | 0.1 | 21 | 0.2 | 17 | 0.1 | 9 | 0.1 | 7 | 0.1 | 6 | 0.1 |
| 第3次産業 | 建 設 業 | 847 | 6.6 | 1,066 | 7.9 | 866 | 7.2 | 830 | 6.9 | 647 | 5.8 | 539 | 4.9 |
| | 製 造 業 | 4,035 | 31.5 | 4,046 | 30.0 | 3,242 | 26.9 | 2,718 | 22.6 | 2,454 | 22.2 | 2,235 | 20.2 |
| | 計 | 7,222 | 56.4 | 7,662 | 56.8 | 7,965 | 66.2 | 7,981 | 66.3 | 8,131 | 73.4 | 7,833 | 70.7 |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | | 71 | 0.6 | 58 | 0.5 | 62 | 0.5 | 47 | 0.4 | 31 | 0.3 | 34 | 0.3 |
| 情 報 通 信 業 | | 810 | 6.3 | 610 | 4.5 | 682 | 5.7 | 627 | 5.2 | 65 | 0.6 | 69 | 0.6 |
| 運 輸 業 | | — | — | — | — | — | — | — | — | 510 | 4.6 | 501 | 4.5 |
| 卸・小売業 | | 1,467 | 11.4 | 1,550 | 11.5 | 1,627 | 13.5 | 1,713 | 14.2 | 1,376 | 12.4 | 1,196 | 10.8 |
| 第3次産業 | 金融・保険業 | 199 | 1.6 | 177 | 1.3 | 164 | 1.4 | 151 | 1.3 | 137 | 1.2 | 140 | 1.3 |
| | 不動産業 | 32 | 0.2 | 31 | 0.2 | 35 | 0.3 | 45 | 0.4 | 88 | 0.8 | 85 | 0.8 |
| | 飲食店、宿泊業 | — | — | — | — | — | — | — | — | 609 | 5.5 | 713 | 6.4 |
| 医療・福祉 | | — | — | — | — | — | — | — | — | 691 | 6.2 | 796 | 7.2 |
| 教育、学習支援事業 | | — | — | — | — | — | — | — | — | 969 | 8.8 | 862 | 7.8 |
| 複合サービス事業 | | 3,055 | 23.8 | 2,657 | 19.7 | 3,438 | 28.6 | 3,579 | 29.7 | 149 | 1.3 | 94 | 0.8 |
| サービス業(他に分類されないもの) | | — | — | — | — | — | — | — | — | 1,744 | 15.8 | 1,512 | 13.7 |
| 公務(他に分類されないもの) | | 1,588 | 12.4 | 2,579 | 19.1 | 1,957 | 16.3 | 1,819 | 15.1 | 1,762 | 15.9 | 1,831 | 16.5 |
| 分類不能の産業 | | 2 | 0.0 | 30 | 0.2 | 5 | 0.0 | 3 | 0.0 | 24 | 0.2 | 28 | 0.3 |

資料:国勢調査

(注) 平成17年国勢調査から産業大分類が大幅に改訂された。

指定文化財

国指定文化財 特別名勝、史跡

| 名称 | 指定日 | 備考 |
|-----|------------|---------------------------------|
| 富士山 | S 27.11.22 | 特別名勝。 |
| 富士山 | H 23. 2. 7 | 史跡。八合目以上の山体、富士浅間神社など複数資産で構成される。 |

国登録文化財 建造物、登録有形文化財

| | | |
|----------------|------------|--|
| 豊門会館(和館) | H 17.11.10 | 藤曲144-8、明治42年建築の和田豊治宅を大正14年に現在地に移築。木造2階建て、瓦葺、入母屋破風 |
| 豊門会館(洋館) | H 17.11.10 | 藤曲144-8、和館と隣接(南側)、平屋建て、スレート葺、寄棟造、 |
| 豊門公園西洋館 | H 17.11.10 | 藤曲144-8、昭和初期に建設、旧豊門青年学校、木造2階建て、スレート葺、寄棟造 |
| 豊門公園正門 | H 17.11.10 | 藤曲144-8、大正14年建設、鉄筋コンクリート、モルタル洗い出し仕上げの門柱 |
| 豊門公園噴水泉 | H 17.11.10 | 藤曲144-8、昭和初期建設、鉄筋コンクリート、モルタル洗い出し仕上げで石積み風に目地を入れている |
| 豊門公園 和田君遺憲碑 | H 17.11.10 | 藤曲144-8、大正14年建設、高さ3mの花崗岩製、朝倉文夫による独特な意匠 |
| 森村橋 | H 17.11.10 | 小山133-6、明治39年建設、鋼製プラットトラス方式、秋元繁松設計、東京石川島造船所制作 |
| 松村家住宅主屋 | H 20. 7. 8 | 須走31-32、昭和12年建築、木造平屋建て、スレート葺、建築面積123m ² 、和洋融合建築 |

県指定 天然記念物、有形文化財

| | | |
|--------------|------------|--|
| 富士浅間神社のハルニレ | S 38. 2.19 | 須走126、富士浅間神社境内、幹廻4m、樹高24.5m |
| 上野のトチノキ | S 41. 3.22 | 上野299、上野奥の沢、幹廻7m、樹高40m |
| 大胡田天神社のイチョウ | S 41. 3.22 | 大胡田643、大胡田天神社境内、幹廻7.6m、樹高20m |
| 柳島八幡神社の二本スギ | S 42.10.11 | 柳島168、柳島八幡神社境内、幹廻5.2m・5.5m、樹高31m・36m |
| 宝鏡寺の木造地蔵菩薩坐像 | S 60. 3.14 | 竹之下1462、宗教法人宝鏡寺、像高77.1cm、檜材、寄木造、内刳・漆箱白毫に水晶球五眼嵌入、南北朝期 |

町指定 天然記念物、有形文化財、無形民俗文化財

| | | |
|-------------------|------------|--|
| 乗光寺 大森六代之墓 | S 48.10.25 | 生土234-1、生土乗光寺 |
| 甘露寺宝筐印塔 | S 48.10.25 | 菅沼683、甘露寺 |
| 湯船八幡神社 夫婦スギ | S 58. 5. 1 | 湯船371、湯船八幡神社境内、大(根廻7.5m目通5.65m樹高35m)小(根廻5.6m目通4.26m樹高30m樹齡約250年) |
| 上野神明社のツクバネカシ | S 58. 5. 1 | 上野178、上野神明社境内、根廻6.1m、目通5.1m、樹高20m、樹齡約300年 |
| 富士浅間神社のエゾヤマザクラ | S 58. 5. 1 | 須走126、富士浅間神社境内、根廻2.08m、目通1.75m、樹高8m、樹齡約110年 |
| 竹之下太鼓 | S 59.12.21 | 竹之下区 |
| 棚頭産神社のスギ | S 63.12.16 | 棚頭714、棚頭産神社境内、甲(根廻6.45m目通5.6m)乙(根廻6.4m目通5.2m)樹高甲乙33m、樹齡約400年 |
| 用沢八幡宮の三本スギ | S 63.12.16 | 用沢517、用沢八幡宮境内、根廻10.3m、目通甲3.4m乙5.0m丙3.5m、樹高約30m、樹齡約400年 |
| 嘉慶銘宝筐印塔 | S 63.12.16 | 菅沼2122-2、菅沼字塔の元、湯山秀器氏所有の梅林内 |
| 栗の木沢の唯念名号碑 | S 63.12.16 | 竹之下3676-20、竹之下梨の木尾、碑の高さ3.8m、横幅1.5m、厚さ0.8m |
| 富士浅間神社の根上りモミ | H 3. 5. 1 | 須走126、富士浅間神社境内、根廻4.61m、目通3.07m、樹高27m、樹齡約300年 |
| 栗の木沢の題目碑 | H 3. 5. 1 | 竹之下3677-17、竹之下沢ハミ、碑の高さ3.56m、横幅1.24m、厚さ中42cm下60cm |
| 富士浅間神社社殿 | H 4. 6. 1 | 須走126、木造・平屋・権現造、入母屋造(本殿・拝殿)、平面積163.728m ² |
| 坂下区十王堂 地蔵菩薩坐像 | H 21.12.16 | 菅沼707-1、桧・寄木造・漆箔・肉身金泥塗り、玉眼、本体像高34.4cm面長7.9cm面幅7.3cm、室町後期～江戸初期 |
| 坂下区十王堂 十王図 | H 21.12.16 | 菅沼707-1、全10幅、紙本著色・紙継ぎなし・表装後補、縦111.4～112.0cm横37.0～37.5cm、文化元年(1804)、筆致は素朴で同一人物による作品 |
| 坂下区十王堂 木食観正宝号軸 | H 21.12.16 | 菅沼707-1、絹本着色・紙継ぎなし・布表装、作者木食観正、縦67.9cm横33.8cm、作者が小山町に滞在した文政7年(1824)頃 |
| 坂下区十王堂 石仏 | H 21.12.16 | 菅沼707-1、全17体、丸彫像・一部朱彩色・金泥彩色、像高25.8～41.8cm、延宝8年(1680)をかなり遡る江戸初期 |

資料：生涯学習課

小学校在籍者数の推移

(各年度 5月1日現在)

| 区分 年度 | 成美小学校 | | 明倫小学校 | | 足柄小学校 | | 北郷小学校 | | 須走小学校 | | 合 計 | |
|----------|-------|-----|-----------|------------|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-----------|--------------|
| | 学級数 | 児童数 | 学級数 | 児童数 | 学級数 | 児童数 | 学級数 | 児童数 | 学級数 | 児童数 | 学級数 | 児童数 |
| 昭和50年 | 17 | 574 | (1) 13 | (4) 369 | 6 | 110 | 12 | 392 | 17 | 566 | (1) 65 | (4) 2,011 |
| 昭和60年 | 14 | 513 | (1) 12 | (4) 320 | 6 | 157 | 16 | 577 | 13 | 460 | (1) 61 | (4) 2,027 |
| 平成 7 年 | 12 | 385 | (1) 11 | (5) 261 | 6 | 128 | 13 | 433 | 14 | 418 | (1) 56 | (5) 1,625 |
| 平成12年 | 11 | 289 | (1) 7 | (5) 187 | 6 | 125 | 12 | 419 | 12 | 413 | (1) 48 | (5) 1,433 |
| 平成18年 | 10 | 261 | (1) 7 | (2) 166 | 6 | 137 | 12 | 345 | 14 | 396 | (1) 49 | (2) 1,305 |
| 平成19年 | 7 | 223 | (2) 8 | (2) 168 | 6 | 141 | 11 | 333 | 14 | 388 | (1) 46 | (3) 1,253 |
| 平成20年 | 7 | 209 | (2) 8 | (4) 173 | 6 | 137 | 11 | 336 | 13 | 377 | (1) 45 | (3) 1,232 |
| 平成21年 | 7 | 195 | (2) 8 | (6) 174 | 6 | 128 | 12 | 327 | 13 | 399 | (1) 46 | (2) 1,223 |
| 平成22年 | 6 | 182 | (2) 8 | (6) 168 | 6 | 119 | 11 | 314 | 13 | 380 | (1) 44 | (4) 1,163 |
| 平成23年 | 6 | 168 | (2) 8 | (7) 163 | 6 | 113 | 11 | 301 | 13 | 367 | (1) 44 | (3) 1,112 |
| 平成24年 | 6 | 151 | (2) 8 | (7) 163 | 6 | 106 | 11 | 296 | 13 | 356 | (1) 44 | (5) 1,072 |

()は特別支援学級・児童数、内数

中学校在籍者数の推移

(各年度 5月1日現在)

| 区分 年度 | 小山中学校 | | 北郷中学校 | | 須走中学校 | | 合 計 | |
|----------|-----------|-------------|----------|------------|----------|------------|-----------|--------------|
| | 学級数 | 生徒数 | 学級数 | 生徒数 | 学級数 | 生徒数 | 学級数 | 生徒数 |
| 昭和50年 | (1) 16 | (11) 585 | 6 | 193 | 6 | 201 | (1) 28 | (11) 979 |
| 昭和60年 | (1) 15 | (6) 571 | 8 | 296 | 6 | 173 | (1) 29 | (6) 1,040 |
| 平成 7 年 | (1) 13 | (2) 447 | 8 | 252 | 3 | 114 | (1) 24 | (2) 813 |
| 平成12年 | (1) 13 | (2) 413 | 6 | 197 | 5 | 145 | (1) 24 | (2) 755 |
| 平成18年 | (1) 9 | (1) 280 | (1) 7 | (1) 215 | (1) 7 | (1) 145 | (3) 23 | (3) 640 |
| 平成19年 | (1) 11 | (1) 292 | (1) 7 | (1) 196 | (1) 7 | (2) 145 | (3) 25 | (4) 633 |
| 平成20年 | (1) 10 | (1) 284 | 6 | 181 | (1) 7 | (2) 143 | (2) 23 | (3) 608 |
| 平成21年 | (1) 10 | (1) 296 | (1) 7 | (2) 181 | (1) 6 | (1) 134 | (3) 23 | (4) 611 |
| 平成22年 | (2) 11 | (4) 280 | (1) 7 | (3) 183 | (1) 5 | (3) 127 | (4) 23 | (10) 590 |
| 平成23年 | (2) 11 | (5) 285 | (1) 7 | (2) 176 | (1) 5 | (3) 133 | (4) 23 | (10) 594 |
| 平成24年 | (2) 11 | (3) 274 | (1) 7 | (1) 165 | (1) 5 | (2) 123 | (4) 23 | (6) 562 |

()は特別支援学級・児童数、内数

幼稚園在籍者数の推移

(各年度 5月1日現在)

| 区分 年度 | 小山幼稚園 | | | 駿河幼稚園 | | | 足柄幼稚園 | | | 北郷幼稚園 | | | 須走幼稚園 | | | 合 計 | | | | | |
|----------|-------|-----|----|---------|-----|-----|-------|-----|-----|-------|----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----------------|-----------------------|
| | 4歳児 | 5歳児 | 計 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 計 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 計 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 計 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 計 | | |
| 昭和50年 | 33 | 35 | 68 | | 45 | 35 | 80 | | 32 | 23 | 55 | | 56 | 47 | 103 | | 81 | 55 | 136 | 247 195 442 | |
| 昭和60年 | 33 | 33 | 66 | | 15 | 16 | 31 | | 17 | 20 | 37 | | 32 | 45 | 77 | | 56 | 47 | 103 | 153 161 314 | |
| 平成 7年 | 25 | 27 | 52 | | 20 | 19 | 39 | | 12 | 18 | 30 | 40 | 44 | 33 | 117 | | 68 | 64 | 132 | 40 169 161 370 | |
| 平成12年 | 25 | 41 | 66 | 17 | 16 | 26 | 59 | | 19 | 17 | 36 | 45 | 40 | 33 | 118 | | 56 | 49 | 105 | 62 156 166 384 | |
| 平成18年 | 12 | 13 | 25 | 16 | 12 | 13 | 41 | 12 | 11 | 13 | 36 | 25 | 30 | 18 | 73 | 55 | 57 | 50 | 162 | 108 122 107 337 | |
| 平成19年 | 16 | 13 | 29 | 9 | 9 | 11 | 29 | 11 | 13 | 11 | 35 | 19 | 26 | 28 | 73 | 41 | 56 | 54 | 151 | 80 120 117 317 | |
| 平成20年 | 9 | 16 | 25 | 11 | 9 | 8 | 28 | 8 | 12 | 12 | 32 | 23 | 18 | 26 | 67 | 49 | 51 | 49 | 149 | 91 99 111 301 | |
| 平成21年 | 8 | 10 | 18 | 10 | 11 | 9 | 30 | 8 | 7 | 13 | 28 | 28 | 24 | 20 | 72 | 61 | 49 | 53 | 163 | 107 99 105 311 | |
| 平成22年 | | | | 駿河小山幼稚園 | | | 19 | 12 | 20 | 51 | 12 | 11 | 7 | 30 | 22 | 26 | 24 | 72 | 47 | 59 | 46 152 100 108 97 305 |
| 平成23年 | | | | | 23 | 21 | 12 | 56 | 4 | 13 | 9 | 26 | 23 | 21 | 24 | 68 | 57 | 58 | 57 | 172 | 107 113 102 322 |
| 平成24年 | | | | | 21 | 24 | 21 | 66 | 11 | 4 | 12 | 27 | 30 | 24 | 22 | 76 | 40 | 67 | 51 | 158 | 102 119 106 327 |

※平成22年4月1日:小山幼稚園と駿河幼稚園の統合により駿河小山幼稚園として開園。

保育園在籍者数の推移

(各年度 4月1日現在)

| 区分 年度 | (旧) 藤曲保育所 | | | | | | いきど保育園 | | | | | | 合 計 | | | | | | | | |
|----------|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---|
| | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 計 | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 計 | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 計 |
| 昭和50年 | 12 | 20 | 30 | 28 | 90 | | 14 | 23 | 33 | 18 | 88 | | 14 | 38 | 31 | 27 | 110 | | | | |
| 昭和60年 | 8 | 27 | 30 | 25 | 90 | 1 | 12 | 26 | 29 | 31 | 99 | | 11 | 27 | 30 | 42 | 110 | | | | |
| 平成 7年 | 2 | 5 | 9 | 14 | 30 | 1 | 6 | 15 | 16 | 18 | 56 | 4 | 15 | 12 | 9 | 12 | 52 | | | | |
| 平成12年 | | | | | | | 2 | 5 | 11 | 20 | 14 | 20 | 72 | 2 | 8 | 12 | 14 | 15 | 15 | 66 | |
| 平成18年 | | | | | | | 7 | 7 | 11 | 16 | 11 | 52 | 3 | 9 | 15 | 15 | 19 | 22 | 83 | | |
| 平成19年 | | | | | | | 1 | 4 | 11 | 14 | 13 | 16 | 59 | 4 | 12 | 15 | 21 | 17 | 20 | 89 | |
| 平成20年 | | | | | | | 1 | 7 | 7 | 12 | 15 | 13 | 55 | 1 | 13 | 18 | 21 | 25 | 16 | 94 | |
| 平成21年 | | | | | | | 2 | 6 | 12 | 13 | 13 | 16 | 62 | 2 | 12 | 19 | 24 | 21 | 24 | 102 | |
| 平成22年 | | | | | | | 1 | 5 | 13 | 11 | 13 | 12 | 55 | 5 | 6 | 18 | 22 | 25 | 21 | 97 | |
| 平成23年 | | | | | | | 2 | 7 | 11 | 15 | 12 | 14 | 61 | 2 | 12 | 16 | 22 | 22 | 26 | 100 | |
| 平成24年 | | | | | | | 2 | 9 | 5 | 13 | 14 | 14 | 57 | 1 | 7 | 14 | 17 | 20 | 21 | 80 | |

| 区分 年度 | 北郷保育園 | | | | | | すばしり保育園 | | | | | | 合 計 | | | | | | | | |
|----------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 計 | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 計 | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 計 |
| 昭和50年 | 17 | 40 | 25 | 26 | 108 | | 7 | 30 | 29 | 23 | 89 | | 64 | 151 | 148 | 122 | 485 | | | | |
| 昭和60年 | 11 | 35 | 46 | 50 | 142 | 1 | 16 | 30 | 23 | 28 | 97 | | 47 | 145 | 158 | 176 | 526 | | | | |
| 平成 7年 | 13 | 16 | 20 | 31 | 80 | 7 | 14 | 10 | 24 | 55 | 27 | | 62 | 64 | 99 | 252 | | | | | |
| 平成12年 | 2 | 4 | 11 | 21 | 27 | 20 | 85 | 4 | 10 | 9 | 10 | 22 | 17 | 72 | 10 | 27 | 43 | 65 | 78 | 72 | 295 |
| 平成18年 | 3 | 8 | 12 | 17 | 32 | 22 | 94 | 2 | 7 | 16 | 20 | 14 | 25 | 84 | 8 | 31 | 50 | 63 | 81 | 80 | 313 |
| 平成19年 | 3 | 1 | 10 | 17 | 17 | 35 | 83 | 2 | 7 | 10 | 18 | 20 | 12 | 69 | 10 | 24 | 46 | 70 | 67 | 83 | 300 |
| 平成20年 | 3 | 12 | 16 | 16 | 15 | 16 | 78 | 6 | 10 | 12 | 11 | 22 | 19 | 80 | 11 | 42 | 53 | 60 | 77 | 64 | 307 |
| 平成21年 | 3 | 7 | 18 | 24 | 18 | 18 | 88 | 5 | 12 | 12 | 14 | 14 | 24 | 81 | 12 | 37 | 61 | 75 | 66 | 82 | 333 |
| 平成22年 | 7 | 13 | 12 | 27 | 23 | 18 | 100 | 5 | 13 | 16 | 12 | 15 | 12 | 73 | 18 | 37 | 59 | 72 | 76 | 63 | 325 |
| 平成23年 | 7 | 13 | 24 | 16 | 26 | 22 | 108 | 6 | 11 | 14 | 18 | 11 | 19 | 79 | 17 | 43 | 65 | 71 | 71 | 81 | 348 |
| 平成24年 | 3 | 16 | 18 | 30 | 17 | 26 | 110 | 1 | 16 | 15 | 19 | 22 | 18 | 91 | 7 | 48 | 52 | 79 | 73 | 79 | 338 |

※平成9年3月31日:藤曲保育所廃止。

議決機関（平成24年8月1日現在）

議長 真田 勝

副議長 鷹嶋 邦彦

| 常任委員会 | 総務建設委員会 | 文教厚生委員会 |
|-------|------------------------|---------------------------------|
| 委員長 | 米山 千晴 | 桜井 光一 |
| 副委員長 | 阿部 司 | 渡辺 悅郎 |
| 委員 | 湯山 鉄夫 梶 繁美 込山 恒広 | 池谷 弘 高畠 博行 池谷 洋子 鷹嶋 邦彦 |



歴代議長

| 歴代 氏名 | 就任機関 | 歴代 氏名 | 就任機関 |
|---------|------------------------------|----------|------------------------------|
| 1 藤曲 鏡 | 昭和22年6月13日から 昭和24年6月20日まで | 11 渡辺 俊雄 | 昭和42年5月11日から 昭和44年5月12日まで |
| 2 藤曲 鏡 | 昭和24年6月20日から 昭和26年4月30日まで | 12 渡辺 俊雄 | 昭和44年5月12日から 昭和46年4月30日まで |
| 3 室伏 隆策 | 昭和26年5月18日から 昭和28年5月4日まで | 13 高村 一男 | 昭和46年5月13日から 昭和48年5月8日まで |
| 4 室伏 隆策 | 昭和28年5月4日から 昭和30年4月30日まで | 14 湯山 匡 | 昭和48年5月8日から 昭和50年4月30日まで |
| 5 白井 幸雄 | 昭和30年5月21日から 昭和32年4月29日まで | 15 高村 一男 | 昭和50年5月10日から 昭和52年5月23日まで |
| 6 白井 幸雄 | 昭和32年4月29日から 昭和34年4月30日まで | 16 高村 一男 | 昭和52年5月23日から 昭和54年4月30日まで |
| 7 室伏 武 | 昭和34年5月15日から 昭和36年5月2日まで | 17 代田 俊男 | 昭和54年5月10日から 昭和56年6月8日まで |
| 8 室伏 武 | 昭和36年5月2日から 昭和38年4月30日まで | 18 鈴木 敏一 | 昭和56年6月8日から 昭和58年4月30日まで |
| 9 米山 孝 | 昭和38年5月16日から 昭和40年5月11日まで | 19 代田 俊男 | 昭和58年5月12日から 昭和60年6月4日まで |
| 10 米山 孝 | 昭和40年5月11日から 昭和42年4月30日まで | 20 代田 俊男 | 昭和60年6月4日から 昭和62年4月30日まで |

| 歴代 氏名 | 就任機関 | 歴代 氏名 | 就任機関 |
|----------|------------------------------|----------|------------------------------|
| 21 代田 俊男 | 昭和62年5月11日から 平成元年6月12日まで | 11 瀬戸 正春 | 昭和40年5月11日から 昭和42年4月30日まで |
| 22 長田 璃 | 平成元年6月12日から 平成3年4月30日まで | 12 勝又 茂雄 | 昭和42年5月12日から 昭和44年5月12日まで |
| 23 芹沢 建一 | 平成3年5月13日から 平成5年6月3日まで | 13 高田 周作 | 昭和44年5月12日から 昭和46年4月30日まで |
| 24 藤曲 恒 | 平成5年6月3日から 平成7年4月30日まで | 14 猪股 喜則 | 昭和46年5月13日から 昭和48年5月8日まで |
| 25 遠藤 幸也 | 平成7年5月15日から 平成9年6月5日まで | 15 猪股 喜則 | 昭和48年5月8日から 昭和50年4月30日まで |
| 26 杉山 昭雄 | 平成9年6月5日から 平成11年4月30日まで | 16 室伏 久徳 | 昭和50年5月10日から 昭和52年5月23日まで |
| 27 藤曲 正幸 | 平成11年5月17日から 平成13年6月5日まで | 17 代田 俊男 | 昭和52年5月23日から 昭和54年4月30日まで |
| 28 白井 正 | 平成13年6月5日から 平成15年4月30日まで | 18 白井 徳雄 | 昭和54年5月10日から 昭和56年6月8日まで |
| 29 米山 元 | 平成15年5月14日から 平成17年6月2日まで | 19 岩田 実 | 昭和56年6月8日から 昭和58年4月30日まで |
| 30 室伏 武 | 平成17年6月2日から 平成19年4月30日まで | 20 石井 東一 | 昭和58年5月12日から 昭和60年6月4日まで |
| 31 梶 繁美 | 平成19年5月11日から 平成21年6月2日まで | 21 長田 育造 | 昭和60年6月4日から 昭和62年4月30日まで |
| 32 辻山 恒広 | 平成21年6月2日から 平成23年1月11日まで | 22 望月千治郎 | 昭和62年5月11日から 平成元年6月12日まで |
| 33 伸井 民夫 | 平成23年1月11日から 平成23年4月30日まで | 23 高村 豊 | 平成元年6月12日から 平成3年5月13日まで |
| 34 真田 勝 | 平成23年5月12日から | 24 小野 智弘 | 平成3年5月13日から 平成5年6月3日まで |
| | | 25 湯山 光高 | 平成5年6月3日から 平成7年4月30日まで |
| | | 26 高橋 穂積 | 平成7年5月15日から 平成9年6月5日まで |
| | | 27 白井 正 | 平成9年6月5日から 平成11年4月30日まで |
| | | 28 池谷 良郎 | 平成11年5月17日から 平成13年6月5日まで |
| | | 29 高田 静雄 | 平成13年6月5日から 平成15年4月30日まで |
| | | 30 真田 勝 | 平成15年5月14日から 平成17年6月2日まで |
| | | 31 真田 勝 | 平成17年6月2日から 平成19年4月30日まで |
| | | 32 辻山 恒広 | 平成19年5月11日から 平成21年6月2日まで |
| | | 33 湯山 鉄夫 | 平成21年6月2日から 平成23年1月11日まで |
| | | 34 岩田 治和 | 平成23年1月11日から 平成23年4月30日まで |
| | | 35 鷹嶋 邦彦 | 平成23年5月12日から |

歴代副議長

| 歴代 氏名 | 就任機関 |
|----------|------------------------------|
| 1 室伏 隆策 | 昭和22年6月13日から 昭和24年6月20日まで |
| 2 室伏 隆策 | 昭和24年6月20日から 昭和26年4月30日まで |
| 3 勝又竹三郎 | 昭和26年5月18日から 昭和28年5月4日まで |
| 4 勝又 光一 | 昭和28年5月4日から 昭和29年9月30日まで |
| 5 白井 幸雄 | 昭和29年9月30日から 昭和30年4月30日まで |
| 6 尾崎 幸雄 | 昭和30年5月21日から 昭和32年4月29日まで |
| 7 小林 武志 | 昭和32年4月29日から 昭和34年4月30日まで |
| 8 米山 綱雄 | 昭和34年5月15日から 昭和36年5月2日まで |
| 9 米山 孝 | 昭和36年5月2日から 昭和38年4月30日まで |
| 10 白井 武男 | 昭和38年5月16日から 昭和40年5月11日まで |

歴代特別職

町 長

| 歴代 氏名 | 就任機関 |
|----------|-------------------------------|
| 1 湯山 寿介 | 大正元年10月16日から 大正5年10月15日まで |
| 2 湯山 剛平 | 大正5年10月16日から 大正9年10月15日まで |
| 3 室伏 完 | 大正9年10月18日から 大正13年10月17日まで |
| 4 室伏 完 | 大正13年10月18日から 大正14年3月17日まで |
| 5 湯山 剛平 | 大正14年10月12日から 昭和4年10月11日まで |
| 6 湯山 正平 | 昭和4年11月8日から 昭和8年11月7日まで |
| 7 高橋文治郎 | 昭和8年11月8日から 昭和12年11月7日まで |
| 8 岩田 幸恵 | 昭和12年11月8日から 昭和13年9月11日まで |
| 9 高橋文治郎 | 昭和13年9月20日から 昭和16年1月16日まで |
| 10 室伏 武 | 昭和16年2月3日から 昭和20年2月2日まで |
| 11 室伏 武 | 昭和20年2月3日から 昭和21年11月24日まで |
| 12 湯山 正平 | 昭和22年4月5日から 昭和26年4月4日まで |
| 13 湯山 正平 | 昭和26年4月23日から 昭和30年4月22日まで |
| 14 湯山 正平 | 昭和30年5月1日から 昭和34年4月30日まで |
| 15 鈴木 繁 | 昭和34年5月1日から 昭和38年4月30日まで |
| 16 神成 昇造 | 昭和38年5月1日から 昭和42年4月30日まで |
| 17 神成 昇造 | 昭和42年5月1日から 昭和46年4月30日まで |
| 18 湯山 勝人 | 昭和46年5月1日から 昭和50年4月30日まで |
| 19 湯山 勝人 | 昭和50年5月1日から 昭和54年4月30日まで |
| 20 湯山 勝人 | 昭和54年5月1日から 昭和58年4月30日まで |
| 21 高橋 春雄 | 昭和58年5月1日から 昭和62年4月30日まで |
| 22 田代 和男 | 昭和62年5月1日から 平成3年4月30日まで |
| 23 田代 和男 | 平成3年5月1日から 平成7年4月30日まで |
| 24 長田 央 | 平成7年5月1日から 平成11年4月30日まで |
| 25 長田 央 | 平成11年5月1日から 平成15年4月30日まで |

| 歴代 氏名 | 就任機関 |
|----------|-----------------------------|
| 26 長田 央 | 平成15年5月1日から 平成19年4月30日まで |
| 27 高橋 宏 | 平成19年5月1日から 平成23年4月30日まで |
| 28 辻山 正秀 | 平成23年5月1日から |

助 役

| 歴代 氏名 | 就任機関 |
|----------|--------------------------------|
| 1 室伏 完 | 大正元年10月25日から 大正5年10月24日まで |
| 2 中村兼次郎 | 大正元年4月13日から 大正5年11月12日まで |
| 3 藤曲 芳邦 | 大正5年10月30日から 大正9年10月29日まで |
| 4 中村兼次郎 | 大正5年11月15日から 大正9年11月14日まで |
| 5 岩田 歌吉 | 大正9年11月3日から 大正13年11月2日まで |
| 6 中村兼次郎 | 大正9年11月15日から 大正10年5月22日まで |
| 7 高橋文治郎 | 大正12年11月24日から 昭和2年11月23日まで |
| 8 岩田 歌吉 | 大正13年11月3日から 大正13年12月25日まで |
| 9 岩田駒次郎 | 昭和3年2月10日から 昭和6年2月9日まで |
| 10 高橋文治郎 | 昭和3年2月12日から 昭和4年10月11日まで |
| 11 高橋文治郎 | 昭和4年12月6日から 昭和8年11月7日まで |
| 12 池谷 治郎 | 昭和8年12月13日から 昭和12年12月12日まで |
| 13 室伏 武 | 昭和8年12月13日から 昭和11年10月31日まで |
| 14 池谷 貞治 | 昭和12年12月13日から 昭和16年12月12日まで |
| 15 池谷 貞治 | 昭和16年12月13日から 昭和20年12月12日まで |
| 16 池谷 董平 | 昭和21年1月21日から 昭和23年3月12日まで |
| 17 池谷 貞治 | 昭和23年9月29日から 昭和27年9月28日まで |
| 18 池谷 貞治 | 昭和27年9月29日から 昭和28年11月28日まで |
| 19 藤曲 鏡 | 昭和29年1月4日から 昭和33年1月3日まで |
| 20 藤曲 鏡 | 昭和33年1月4日から 昭和37年1月3日まで |

| 歴代 氏名 | 就任機関 |
|----------|-------------------------------|
| 21 室伏 隆策 | 昭和37年2月26日から 昭和41年2月25日まで |
| 22 室伏 隆策 | 昭和41年3月26日から 昭和43年11月19日まで |
| 23 湯山 寅一 | 昭和44年3月5日から 昭和48年3月4日まで |
| 24 湯山 寅一 | 昭和48年4月12日から 昭和51年4月10日まで |
| 25 岩田 孝介 | 昭和54年7月5日から 昭和58年7月4日まで |
| 26 岩田 孝介 | 昭和58年7月5日から 昭和62年7月4日まで |
| 27 藤曲 秀夫 | 昭和62年7月11日から 平成3年7月10日まで |
| 28 藤曲 秀夫 | 平成3年7月11日から 平成7年7月10日まで |
| 29 岩田 功 | 平成7年7月11日から 平成11年7月10日まで |
| 30 岩田 功 | 平成11年7月11日から 平成15年7月10日まで |
| 31 高橋 宏 | 平成15年7月11日から 平成16年9月30日まで |

※地方自治法の一部改正（平成18年6月7日
法律第53号）に伴い、助役から副町長に変
更となる。

副町長

| 歴代 氏名 | 就任機関 |
|---------|------------------------------|
| 1 田代 信幸 | 平成19年7月11日から 平成23年3月31日まで |
| 2 土村 晓文 | 平成23年7月15日から |

収入役

| 歴代 氏名 | 就任機関 |
|---------|-------------------------------|
| 1 鈴木 栄吉 | 大正元年10月29日から 大正元年12月20日まで |
| 2 藤曲 芳邦 | 大正元年12月26日から 大正5年10月29日まで |
| 3 岩田 功巧 | 大正5年10月30日から 大正13年10月29日まで |
| 4 湯山 森寿 | 大正13年10月30日から 大正14年9月8日まで |
| 5 尾崎 基 | 大正14年9月15日から 昭和2年9月2日まで |
| 6 勝又 政信 | 昭和2年10月22日から 昭和15年9月19日まで |

| 歴代 氏名 | 就任機関 |
|----------|-------------------------------|
| 7 湯山 高男 | 昭和15年9月22日から 昭和21年11月23日まで |
| 8 岩田 久作 | 昭和23年2月13日から 昭和35年2月12日まで |
| 9 湯山 正一 | 昭和37年3月23日から 昭和53年3月22日まで |
| 10 池谷 典男 | 昭和54年7月5日から 昭和58年7月4日まで |
| 11 長田 孝男 | 昭和58年7月5日から 昭和62年7月4日まで |
| 12 長田 孝男 | 昭和62年7月11日から 平成3年7月10日まで |
| 13 尾崎孝太郎 | 平成3年7月11日から 平成7年7月10日まで |
| 14 池谷 慎 | 平成7年7月11日から 平成11年7月10日まで |
| 15 高橋 宏 | 平成11年7月11日から 平成15年7月10日まで |
| 16 藤曲 強 | 平成15年7月11日から 平成19年7月10日まで |

※地方自治法の一部改正（平成18年6月7日
法律第53号）に伴い、収入役は廃止となり
一般職の会計管理者に変更となる。

歴代教育長

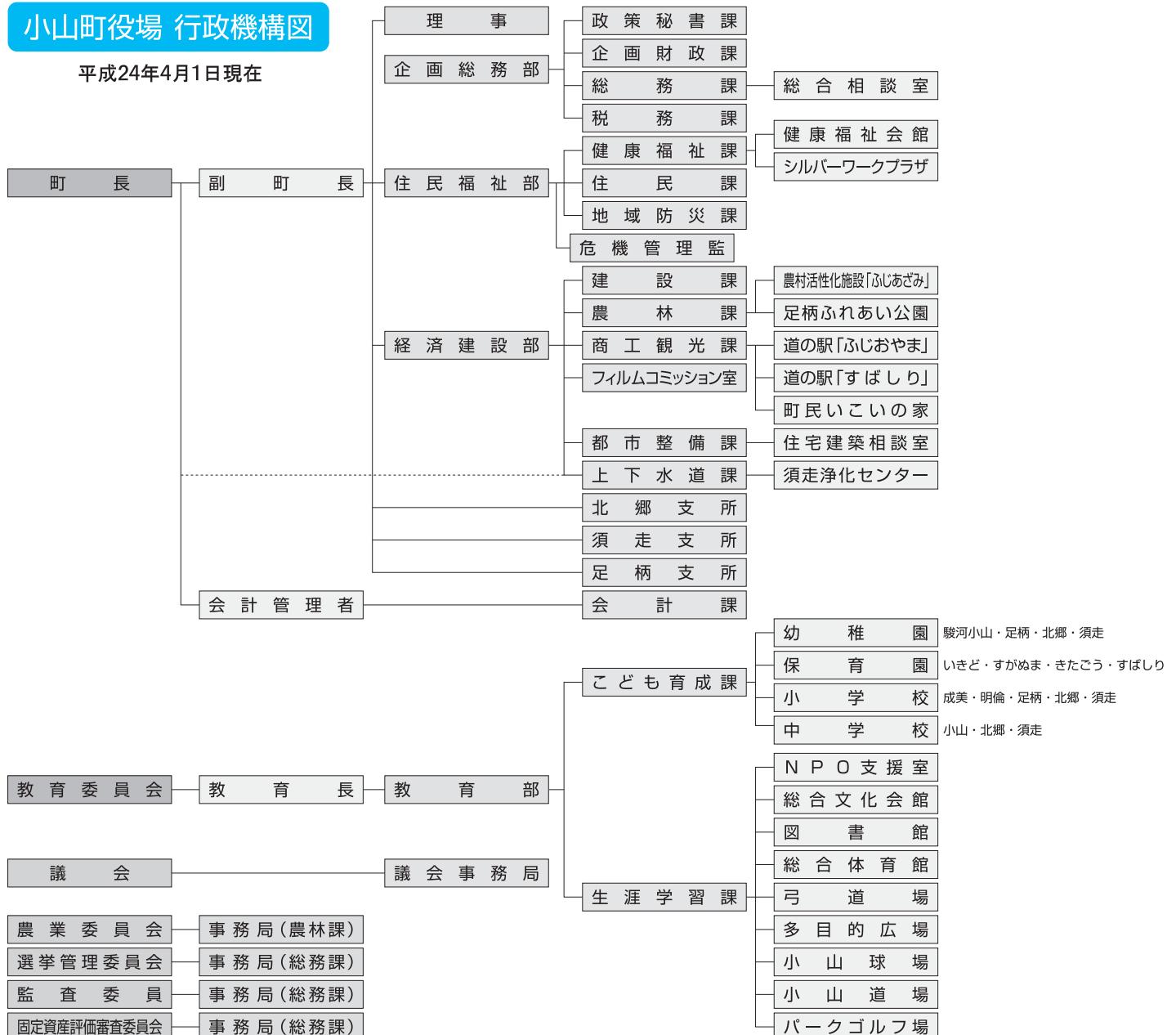
| 歴代 氏名 | 就任機関 |
|----------|--------------------------------|
| 1 尾崎 幸雄 | 昭和37年3月13日から 昭和49年3月12日まで |
| 2 池谷 典男 | 昭和49年3月23日から 昭和53年3月22日まで |
| 3 渡辺 謙一 | 昭和53年4月20日から 昭和55年9月30日まで |
| 4 天野 隆 | 昭和55年12月10日から 昭和63年11月30日まで |
| 5 稲 銀泰 | 昭和63年12月1日から 平成4年11月30日まで |
| 6 嶋田 實雄 | 平成4年12月1日から 平成9年4月1日まで |
| 7 岩田 正憲 | 平成9年4月15日から 平成12年11月30日まで |
| 8 岩田 正憲 | 平成12年12月1日から 平成16年11月30日まで |
| 9 池谷 俊一 | 平成16年12月1日から 平成20年11月30日まで |
| 10 戸枝 浩 | 平成20年12月1日から 平成24年11月30日まで |
| 11 天野 文子 | 平成24年12月1日から |

町内の施設等

| 名 称 | 住 所 | 電 話 | 名 称 | 住 所 | 電 話 |
|------------|-----------|---------|---------------|-----------|---------|
| 役場 | | | 高等学校 | | |
| 小山町役場 | 藤曲57-2 | 76-1111 | 県立小山高等学校 | 竹之下369 | 76-1188 |
| 足柄支所 | 竹之下228-2 | 76-0134 | | | |
| 北郷支所 | 用沢188-1 | 78-0502 | その他 | | |
| 須走支所 | 須走267-6 | 75-2211 | 道の駅ふじおやま | 用沢72-2 | 76-6600 |
| 健康福祉会館 | 小山75-7 | 76-6666 | 道の駅すばしり | 須走338-44 | 75-6363 |
| 生涯学習センター | 阿多野130 | | 町民いこいの家 | | |
| 総合文化会館 | | 76-5700 | あしがら温泉 | 竹之下456-1 | 76-7000 |
| 図書館 | | 76-4270 | | | |
| 総合体育館 | | 76-5708 | 小山町社会福祉協議会 | 小山75-7 | 76-9906 |
| 小学校 | | | 小山消防署 | | |
| 成美小学校 | 藤曲150 | 76-0063 | 須走分署 | 菅沼359-2 | 76-0119 |
| 明倫小学校 | 菅沼627 | 76-0064 | 小山交番 | 須走293-1 | 75-2001 |
| 足柄小学校 | 竹之下2411-1 | 76-0327 | 陸上自衛隊富士学校 | 小山90-7 | 76-1142 |
| 北郷小学校 | 用沢604-1 | 78-0520 | | 須走481-27 | 75-2311 |
| 須走小学校 | 須走70-18 | 75-2730 | 駿河小山郵便局 | 菅沼361-2 | 76-1001 |
| | | | 金太郎郵便局 | 小山89-82 | 76-0993 |
| 中学校 | | | 小山菅沼郵便局 | 菅沼994-6 | 76-0998 |
| 小山中学校 | 藤曲142 | 76-0154 | 足柄駅前郵便局 | 竹之下1312-5 | 76-0997 |
| 北郷中学校 | 用沢355 | 78-0514 | 北郷郵便局 | 用沢187-1 | 78-0001 |
| 須走中学校 | 須走70-18 | 75-2004 | 須走郵便局 | 須走16-14 | 75-2003 |
| 幼稚園 | | | | | |
| 駿河小山幼稚園 | 小山310 | 76-0479 | 小山町観光協会 | 小山599-5 | 76-5000 |
| 足柄幼稚園 | 竹之下2430 | 76-0584 | 小山町商工会 | 小山96-2 | 76-1100 |
| 北郷幼稚園 | 用沢189-1 | 78-0504 | 小山町シルバー人材センター | 用沢345-1 | 78-0011 |
| 須走幼稚園 | 須走83 | 75-2710 | | | |
| 保育園 | | | | | |
| いきど保育園 | 生土132-1 | 76-0423 | | | |
| すがぬま保育園 | 菅沼660 | 76-0429 | | | |
| きたごう保育園 | 用沢169-1 | 78-0456 | | | |
| すばしり保育園 | 須走153 | 75-2720 | | | |

小山町役場 行政機構図

平成24年4月1日現在



姊妹町

しょうおう
岡山県 勝央町
1973年11月24日縁組

所在地：勝田郡勝央町勝間田201
TEL 0868-38-3111
HP <http://www.town.shoo.lg.jp>

小山町が坂田金時（金太郎）の生誕の地であり、勝央町が終焉の地であることから、昭和48年に姉妹縁組を結びました。

國際
姊妹都市
提携

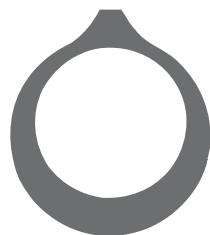
カナダ ミッション市
(ブリティッシュ・コロンビア州)
1996年10月7日調印

所在地：8645 StaveLakeSt・Box20
Mission, BC V2V 4L9
TEL 010-1604-820-3700
HP <http://www.mission.ca/>
気候：平均気温 7月…23°C
1月… 4°C
交通：バンクーバーから車で1～2時間
時差：日本と-16時間

國際
友好交流
都市

中華人民共和国
（浙江省）
海寧市

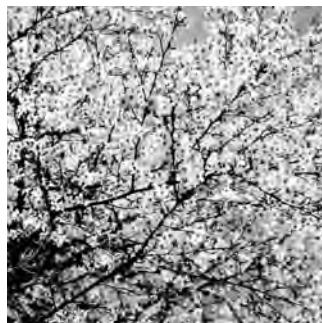
町 章



一般公募により、昭和45年1月1日に制定しました。小山町のイニシャル“O”を基本にして、その頂点に町のシンボル富士山を配し、図案化したものです。富士、箱根、丹沢の連峰に囲まれた緑のオアシスを簡潔に表現し、その中に町民の力強い団結、希望、勇気を表しています。

町の木

ふじ桜



富士山麓に多く自生し、樹高は3~6mの小喬木で、小さな花をつけます。

花色は淡紅色で、ガクが赤味を帯びています。まめ桜とも呼ばれ、品種は多く葉が小さくて若木でもよく花をつけるので、盆栽に適しています。4月~6月にかけ、葉が伸びる前、一斉に開花します。

町の鳥

うぐいす



「ホーホケキョ」の鳴き声で知られる、春を告げる代表的な鳥で梅の木にとまっている姿は昔から絵の題材になっています。

「ケキョ」の部分が富士山を境に西に行けば長く、北に行けば短くなるといわれ、中部地方の鳴き声がもっともよいといわれています。特に町内では須走地区に多く生息しています。

町の花

菜の花



10月ごろ、高うねにした田んぼに種をまき、富士山の温かく、きれいな伏流水で冬を越し、3月~4月に黄色い十字花を咲かせます。花はアブラナに似てやや小形です。また開花する前の2月~3月、柔らかい茎を摘み、塩漬けにして地域の特産物、水掛け菜（とう菜）として各地に出荷しています。

小山町民憲章

わたくしたちは、富士のもと、水と緑にめぐまれていることに誇りをもち、金太郎のように、健康で、明るいゆたかな町づくりをすすめます。

一、めぐまれた自然を愛し、美しいまちをつくります。

一、働きを守り、安全で

住みよいまちをつくります。

一、のびゆく力を育て、文化の

薰り高いまちをつくります。

一、働くことによろこびをもち、健康なまちをつくります。

健 康 な まち を つ く り ま す。

一、たがいに助け合い、親切で、あたたかいまちをつくります。

富士のあるまち おやま

町制施行100周年記念 小山町町勢要覧 資料編

発 行：静岡県小山町
編 集：企画総務部政策秘書課
発行日：平成25年5月30日
印 刷：エビスL.L.C



小山町制100周年